

ES-H7200

操作ガイド

- 本書はスキャナの準備作業と使い方の概要を説明しています。
- 本書はスキャナの近くに置いてご活用ください。

製品をお使いいただく前に

3

本製品を安全にお使いいただくためのご注意を記載しています。

スキャナを使うための準備

11

本製品を使用可能にするための準備作業を説明しています。

基本的なスキャン方法

22

原稿のセット方法や基本的なスキャンの手順を説明しています。

困ったときは

32

セットアップできない、スキャンできないなどの対処方法を記載しています。

オプションについて

38

本製品のオプション品について記載しています。

本製品について

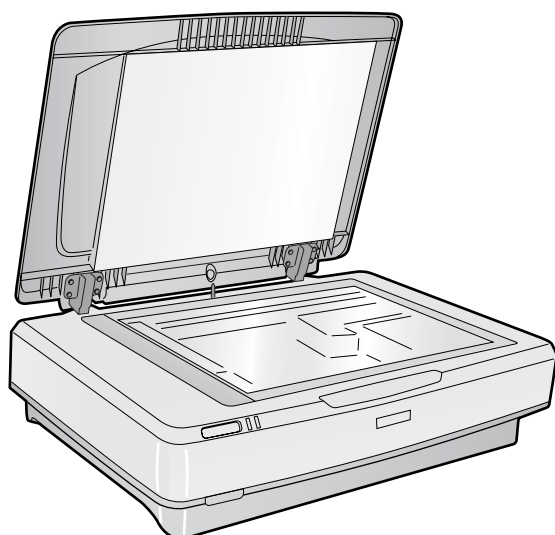
45

本製品の仕様、お手入れのしかたを記載しています。

付録

49

サービス・サポートのご案内と本製品の使用情報を掲載しています。



マークの意味

本書中では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。これらのマークが付いている記述は必ずお読みください。それぞれのマークには次のような意味があります。

 **警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

 **重要** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、スキャナ本体が損傷したり、スキャナ本体、スキャナドライバやユーティリティが正常に動作しなくなる場合があります。この表示は、本製品をお使いいただく上で必ずお守りいただきたい内容を示しています。

 **参考** 補足説明や参考情報を記載しています。

 関連した内容の参照ページを示しています。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適當に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。
- 弊社純正品以外および弊社品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合は、保証期間内であっても責任は負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。

掲載画面

- 本書の画面は実際の画面と多少異なる場合があります。また、OSの違いや使用環境によっても異なる画面となる場合がありますので、ご注意ください。
- 本書に掲載する Windows の画面は、特に指定がない限り Windows Vista の画面を使用しています。
- 本書に掲載する Mac OS X の画面は、特に指定がない限り Mac OS X v10.4 の画面を使用しています。

Windows の表記

Microsoft® Windows® 2000 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Operating System 日本語版
Microsoft® Windows Vista® Operating System 日本語版
本書では、上記各 OS (オペレーティングシステム) をそれぞれ「Windows 2000」、「Windows XP」、「Windows Vista」と表記しています。
また、これらの総称として「Windows」と表記しています。

Mac OS の表記

Mac OS X v10.2.8 ~ v10.5.x
本書では、上記オペレーティングシステムを「Mac OS X」と表記しています。
アップルコンピュータ社製のコンピュータを総称して「Macintosh」と表記していることがあります。

もくじ

はじめにお読みください	2
本製品に同梱されているマニュアルの使い方 ...	2

製品をお使いいただく前に

3

安全上のご注意	3
記号の意味 ...	3
設置上のご注意 ...	3
電源に関するご注意 ...	4
取り扱い上のご注意 ...	5
本製品の不具合に起因する付随的損害について ...	5
同梱物の確認	6
各部の名称と働き	7
スキャナの設置	9

スキャナを使うための準備

11

ソフトウェアをインストールする	11
Windows ...	11
Mac OS X ...	12
パソコンとスキャナの接続 (USB/SCSI)	13
USB 接続 ...	13
SCSI 接続 (Windows のみ) ...	15
接続の確認	16
ローカル接続の場合 (Windows のみ) ...	16
ネットワーク接続の場合 ...	17
準備するときの注意とヒント	19

基本的なスキャン方法

22

原稿のセット方法	22
原稿をスキャンする	23
詳しい使い方 (活用+サポートガイドのご案内)	28
活用+サポートガイドとは ...	28
活用+サポートガイドの表示方法 ...	28
スキャン時の注意とヒント	29

困ったときは

32

トラブル解決法	32
電源とランプに関するトラブル ...	32

インストールのトラブル ...	33
添付ソフトウェアの削除 ...	33
添付ソフトウェアの再インストール ...	34
EPSON Scan とボタンのトラブル ...	34
スキャン結果のトラブル ...	36
オートドキュメントフィーダ使用時のトラブル ...	36
トラブルが解決しないときは	37
活用+サポートガイドをご覧ください ...	37
インターネット FAQ をご覧ください ...	37
本体が故障していないかをご確認の上、 お問い合わせください ...	37

オプションについて

38

コピーユニット / ネットワーク接続用オプション について	38
コピーユニット ...	38
ネットワークスキャニングカード ...	38
オートドキュメントフィーダについて	39
本製品で利用できる オートドキュメントフィーダ ...	39
オートドキュメントフィーダに セットできる原稿 ...	39
オートドキュメントフィーダの取り付け方法	40
オートドキュメントフィーダへの 原稿のセット方法	42
オートドキュメントフィーダを使って スキャンする	43

本製品について

45

輸送時のご注意 / お手入れ	45
輸送時のご注意 ...	45
お手入れ ...	45
仕様	46

付録

49

サービス・サポートのご案内	49
各種サービス・サポートの一覧 ...	49
保守サービスのご案内 ...	49
索引	51

はじめにお読みください

本製品に同梱されているマニュアルの使い方

『操作ガイド』(本書)

スキャナの設置、ソフトウェアのインストール、基本的な使い方、『活用+サポートガイド』の使い方などを説明しています。ソフトウェアのインストールやトラブルが発生したときの解決策も説明しています。



『活用+サポートガイド』(電子マニュアル)

詳しい使い方を知りたいときにご覧ください。

添付のソフトウェア CD-ROM に収録されています。

- 原稿種別のスキャン方法、便利なスキャン方法、トラブルの対処方法などを詳しく説明しています。
- 「こんなときは、どうしたらいいの？」という疑問やトラブルへの解決策が満載です。お問い合わせの前に、ぜひご覧ください。

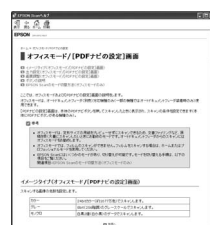


『EPSON Scan ヘルプ』

EPSON Scan (スキャナドライバ) の機能を知りたいときにご覧ください。

EPSON Scan の各設定項目の説明をしています。

ヘルプは、EPSON Scan 画面にある [ヘルプ] をクリックすると表示されます。



安全上のご注意

記号の意味

- 本製品を安全にお使いいただくために、製品をお使いになる際に、必ず以下をお読みください。
- 本書は、製品の不明点をいつでも解決できるように、手元に置いてお使いください。
- 本書は、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作・お取り扱いについて、次の記号で警告表示を行っています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

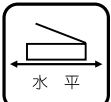
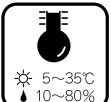
 してはいけない行為（禁止行為）を示しています。	 製品が水に濡れることの禁止を示しています。
 分解禁止を示しています。	 必ず行っていただきたい事項（指示、行為）を示しています。
 濡れた手で製品に触れることの禁止を示しています。	 電源プラグをコンセントから抜くことを示しています。

設置上のご注意

 警告	
	本製品の通風口をふさがないでください。 通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災になるおそれがあります。 布などで覆ったり、風通しの悪い場所に設置しないでください。

 注意	
	不安定な場所、他の機器の振動が伝わる場所に設置・保管しないでください。 落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。
	本製品を持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。 無理な姿勢で持ち上げると、けがをするおそれがあります。
	油煙やホコリの多い場所、水に濡れやすいなど湿気の多い場所に置かないでください。 感電・火災のおそれがあります。
	本製品は重いので、1人で運ばないでください。 開梱や移動の際は2人以上で運んでください。 本製品の質量は以下を参照してください。 📖 本書 46 ページ「基本仕様」

本製品は、次のような場所に設置してください。

水平で安定した場所	風通しの良い場所	次の気温と湿度の場所
		

- テレビ・ラジオに近い場所には設置しないでください。
- 本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に適合しておりますが、微弱な電波は発信しております。近くのテレビ・ラジオに雑音を与えることがあります。
- 静電気の発生しやすい場所でお使いになるときは、静電防止マットなどを使用して、静電気の発生を防いでください。
- 「本製品底面より小さな台」の上には設置しないでください。
- 本製品底面のゴム製の脚が台からはみ出ていると、内部機構に無理な力がかかり、動作不良や故障の原因となります。必ず本体より広い平らな面の上に、本製品底面の脚が確実に載るように設置してください。

電源に関するご注意

⚠ 警告	
 AC100V以外の電源は使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。	 電源プラグは、ホコリなどの異物が付着した状態で使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。
 電源プラグは刃の根元まで確実に差し込んで使用してください。 感電・火災のおそれがあります。	 付属の電源コード以外は使用しないでください。また、付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。
 破損した電源コードを使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。 電源コードが破損したときは、エプソンの修理窓口にご相談ください。 また、電源コードを破損させないために、以下の点を守ってください。 • 電源コードを加工しない • 電源コードに重いものを載せない • 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない • 熱器具の近くに配線しない	 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電のおそれがあります。
 電源コードのたこ足配線はしないでください。 発熱して火災になるおそれがあります。 家庭用電源コンセント（AC100V）から直接電源を取ってください。	 電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。 電源プラグを長期間コンセントに差ししたままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災になるおそれがあります。
 電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずに、電源プラグを持って抜いてください。 コードの損傷やプラグの変形による感電・火災のおそれがあります。	

⚠ 注意
 長期間で使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

取り扱い上のご注意

⚠ 警告

 アルコール、シンナーなどの揮発性物質のある場所や火気のある場所では使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。	 煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。 異常が発生したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。
 異物や水などの液体が内部に入ったときは、そのまま使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。 すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。	 取扱説明書で指示されている箇所以外の分解は行わないでください。
 お客様による修理は、危険ですから絶対にしないでください。	 可燃ガスおよび爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所では使用しないでください。また、本製品の内部や周囲で可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。 引火による火災のおそれがあります。
 各種ケーブルは、取扱説明書で指示されている以外の配線をしないでください。 発火による火災のおそれがあります。また、接続した他の機器にも損傷を与えるおそれがあります。	 製品内部の、取扱説明書で指示されている箇所以外には触れないでください。 感電や火傷のおそれがあります。
 開口部から内部に、金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしないでください。 感電・火災のおそれがあります。	

⚠ 注意

 本製品の上に乗ったり、重いものを置かないでください。 特に、子供のいる家庭ではご注意ください。倒れたり壊れたりして、けがをするおそれがあります。また、ガラス部分が割れてけがをするおそれがあります。	 各種ケーブルやオプションを取り付ける際は、取り付ける向きや手順を間違えないでください。 火災やけがのおそれがあります。 取扱説明書の指示に従って、正しく取り付けてください。
 本製品を移動する際は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。 コードが傷つくなどにより、感電・火災のおそれがあります。	

本製品の不具合に起因する付随的損害について

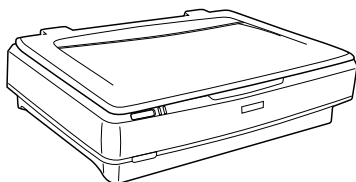
万一、本製品（添付のソフトウェア等も含みます。）の不具合によって所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の喪失等）は、補償いたしかねます。

同梱物の確認

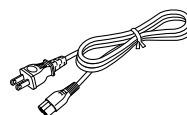
同梱物はすべてそろっていますか？本体や付属品に損傷はありませんか？

万一、付属品の不足や不良がありましたら、お手数ですがお買い求めいただいた販売店までご連絡ください。

セットアップに必要なもの



☐ 本体



☐ 電源コード



☐ ソフトウェア CD-ROM

『活用＋サポートガイド』（電子マニュアル）と EPSON Scan（スキャナドライバ）のソフトウェアが収録されています。

対応 OS は以下の通りです。

Windows	• Windows 2000 • Windows XP • Windows Vista
Mac OS	Mac OS X v10.2.8 ～ v10.5.x



☐ 取扱説明書『操作ガイド（本書）』

※本製品にはWindows 98/Me用のソフトウェアは添付されていません。エプソンのホームページよりダウンロードしてください。

< <http://www.epson.jp> >

その他

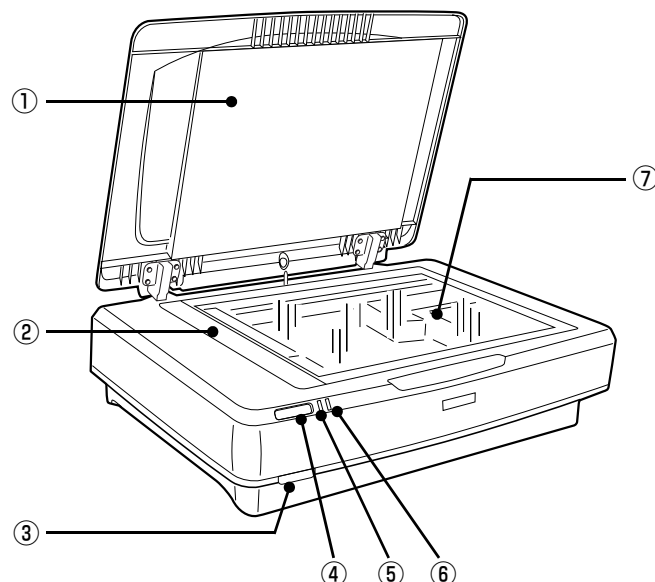
☐ 保証書

このほかにも、各種ご案内や試供品などが同梱されていることがあります。

各部の名称と働き

スキャナの各部の名称とその機能を説明します。

前面

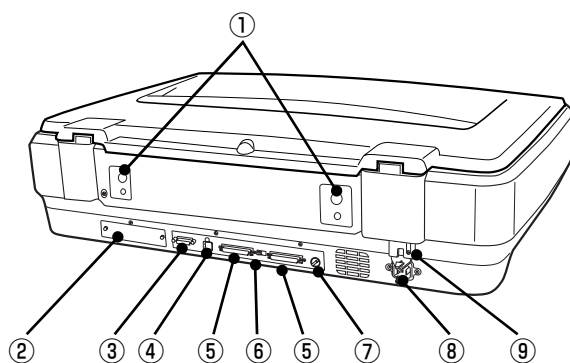


①	原稿カバー	原稿をスキャンするときに閉じて外部の光をさえぎります。 A3 よりも大きい原稿をスキャンするときは、取り外すこともできます。
②	キャリッジ	キャリッジは原稿台の中にあり、原稿を照射する蛍光灯と、反射した光を読み取るセンサーが付いています。スキャン時に移動します。スキャン前の位置（左側）をホームポジションといいます。
③	電源スイッチ	電源をオン / オフします。
④	【スキャナビ】 ボタン	EPSON Scan を起動します。 ネットワーク接続時は、スキャン開始ボタンとして使用します。
⑤	Ready ランプ（緑）	スキャンが可能になるときに点灯します。準備中またはスキャン中は点滅します。エラーの種類によっては、このランプが点滅します。
⑥	Error ランプ（赤）	スキャナにエラーが発生したときに、点灯または点滅します。
⑦	原稿台	原稿のスキャンする面を下にして置きます。スキャン時の開始位置を示す原点マークと、原稿の大きさを示すスケールが付いています。



【スキャナビ】 ボタンの使用方法は『活用＋サポートガイド』をご覧ください。
 本書 28 ページ「詳しい使い方（活用＋サポートガイドのご案内）」

背面

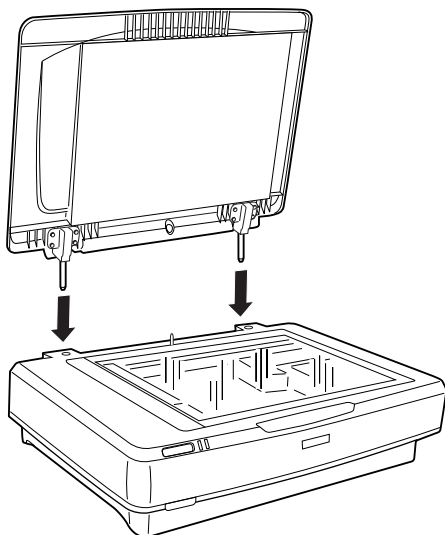


①	オートドキュメントフィーダ装着用プレート	別売オプションのオートドキュメントフィーダ（ADF）を装着するプレートです。
②	オプションスロット	別売オプションのネットワークスキャニングカードまたはコピーユニットを装着します。
③	オプションコネクタ	別売オプションのオートドキュメントフィーダ（ADF）を接続します。
④	USB コネクタ	USB ケーブルを接続します。
⑤	Fast/Ultra SCSI コネクタ	50 ピン高密度ピンタイプの SCSI ケーブルを接続します。
⑥	TERMINATOR SW (ターミネータスイッチ)	SCSI ターミネータを ON（有効）または OFF（無効）にします。
⑦	SCSI ID スイッチ	SCSI ID を設定します。
⑧	電源コネクタ	電源コードを接続します。
⑨	輸送用固定レバー	輸送時にキャリッジが動かないように固定するレバーです。

スキャナの設定

ご使用の前に本体に貼られているテープを取り外してから、以下の作業を行ってください。

1 原稿カバーをスキャナに取り付けます。



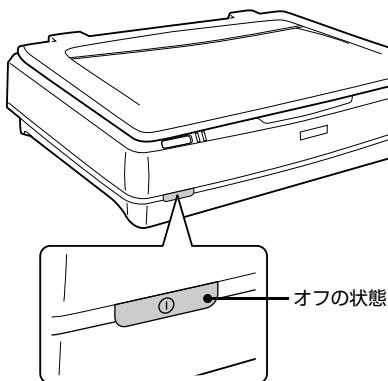
2 設置スペースを確保してスキャナを設置します。

！重要

- 本製品は A3 対応の大型スキャナです。必ず、水平で安定した頑丈な場所に設置してください。不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた場所など）に設置した場合、落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。
- 背面には、電源コードやインターフェースケーブルのためにすき間が必要です。壁に押し付けて置くと、ケーブルの根元に無理な力がかかって断線したり、ケーブルが外れる原因になりますのでご注意ください。

3 電源スイッチがオフであることを確認します。

電源スイッチが奥に押されているときは、スイッチを押して、オフにしてください。

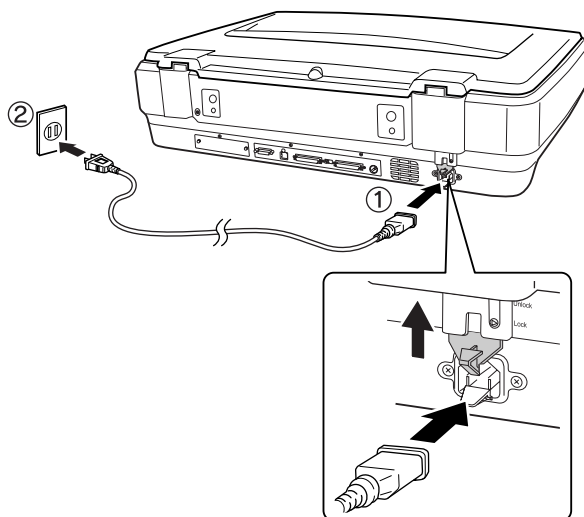


4

電源コードを接続して、電源プラグをコンセントに差し込みます。

①輸送用固定レバーを押し上げながら、電源コードをスキャナの電源コネクタに接続し、②電源プラグをコンセントに差し込みます。

AC100V の電源コンセントに差し込んでください。



！重要

電源プラグを急に抜き差しすると、スキャナが動作不安定になります。電源プラグを抜いてから再度電源をオンにするときは、10 秒以上経過した後、電源プラグを差し込んでください。

参考

- 電源コードを差し込むときに、輸送用固定レバーを押し上げるのでやや抵抗がありますが、奥までしっかりと差し込んでください。
- スキャナを輸送するときは、以下のページをご覧ください。

📖 本書 45 ページ「輸送時のご注意 / お手入れ」

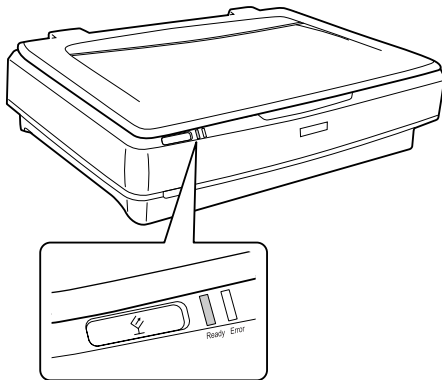
5

スキャナの電源をオンにして、スキャナの状態を確認します。

電源スイッチを押すと、スキャナの電源がオンになります。Ready ランプが緑色に点灯したら、正常に動作しています。

Error ランプと Ready ランプが点滅するときは、以下のページをご覧ください。

🔗 本書 32 ページ「電源とランプに関するトラブル」



6

スキャナの電源をオフにします。

電源スイッチを押して、スキャナの電源をオフにしてください。

スキャナの電源がオフになると、Ready ランプが消えます。

！重要

- スキャナとパソコンはまだ接続しないでください。スキャナとパソコンはソフトウェアのインストール後に接続します。
- 電源コードの抜き差しは、電源スイッチで電源をオフにしてから行ってください。

以上で、スキャナの設置は終了です。

Windows をお使いの場合

🔗 次ページへ進みます。

Mac OS X をお使いの場合

🔗 12 ページへ進みます。

ソフトウェアをインストールする

本製品のスキャナドライバ EPSON Scan の最新対応状況は、エプソンホームページにてご確認ください。

また、ご使用の EPSON Scan をバージョンアップすることによって、今まで発生していた現象が解消されることがありますので、できるだけ最新の EPSON Scan をお使いいただくことをお勧めします。

最新のスキャナドライバ EPSON Scan はエプソンのホームページからダウンロードいただけます。

< <http://www.epson.jp/download/> >

また、本製品には Windows 98/Me 用のソフトウェアは添付されていません。エプソンのホームページよりダウンロードしてください。

< <http://www.epson.jp> >

Windows

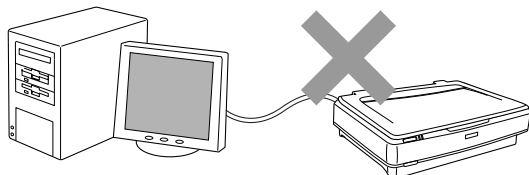
本製品で画像をスキャンするために、EPSON Scan をインストールします。

Mac OS X をお使いの方は以下のページをご覧ください。

☞ 本書 12 ページ「Mac OS X」

1 スキャナとパソコンが接続されていないことを確認します。

スキャナとパソコンは、ソフトウェアのインストール後に接続します。すでに接続しているときは、パソコンとスキャナから USB/SCSI ケーブルを取り外してください。



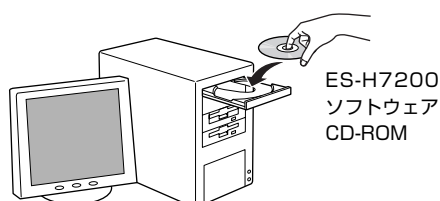
2 パソコンの電源をオンにします。

参考

- ソフトウェアをインストールする前に、以下のページをご覧ください。
☞ 本書 19 ページ「準備するときの注意とヒント」
- 新しいハードウェアを追加するためのウィザード画面が表示されたときは、[キャンセル] をクリックして画面を閉じてから、スキャナとパソコンを接続しているケーブルを取り外してください。

3 [ES-H7200ソフトウェアCD-ROM]をパソコンにセットします。

他のソフトウェアを起動しているときは、インストールを開始する前にソフトウェアを終了してください。



4 インストールを実行します。

下の画面が表示されたら [おすすめインストール] をクリックし、画面の指示に従ってインストールを進めてください。



参考

- 上の画面が表示されないときは、以下のページをご覧ください。
☞ 本書 19 ページ「準備するときの注意とヒント」
- インストールするソフトウェアを選択するには、[カスタムインストール] をクリックし、表示された画面で必要なソフトウェアを選択してください。
- 「MyEPSON」登録のお願い
詳しくは以下のページをご覧ください。
☞ 本書 19 ページ「準備するときの注意とヒント」

インストールが完了したら、ソフトウェア CD-ROM を取り出してください。

以上で、ソフトウェアのインストールは終了です。

Mac OS X

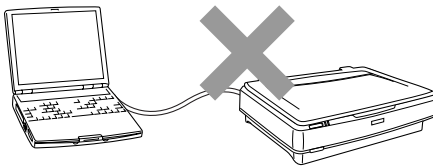
本製品で画像をスキャンするために、EPSON Scan をインストールします。

Windows をお使いの方は以下のページをご覧ください。

📖 本書 11 ページ「Windows」

1 スキャナとパソコンが接続されていないことを確認します。

スキャナとパソコンは、ソフトウェアのインストール後に接続します。すでに接続しているときは、パソコンとスキャナから USB ケーブルを取り外してください。



2 パソコンの電源をオンにします。

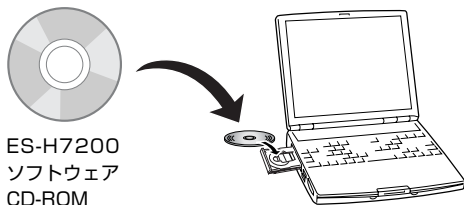
参考

ソフトウェアをインストールする前に、以下のページをご覧ください。

📖 本書 19 ページ「準備するときの注意とヒント」

3 [ES-H7200ソフトウェアCD-ROM]をパソコンにセットします。

他のソフトウェアを起動しているときは、インストールを開始する前にソフトウェアを終了してください。



ES-H7200
ソフトウェア
CD-ROM

参考

エプソン製スキャナに必要なソフトウェアを追加するための画面が表示されたときは、[キャンセル] または [OK] をクリックして画面を閉じてください。

4

インストーラを起動します。

[Mac OS X] アイコンをダブルクリックしてください。



参考

上のアイコンが表示されないときは、デスクトップ上の [EPSON] アイコンをダブルクリックしてください。



5

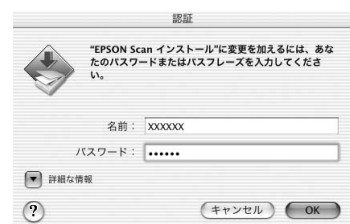
インストールを実行します。

下の画面が表示されたら [おすすめインストール] をクリックし、画面の指示に従ってインストールを進めてください。



参考

- 下の画面が表示されたときは、Mac OS X にログインしているユーザの名前とパスワードを入力して、[OK] をクリックしてください。



- インストールするソフトウェアを選択するには、[カスタムインストール] をクリックし、表示された画面で必要なソフトウェアを選択してください。

- 「MyEPSON」登録のお願い
詳しくは以下のページをご覧ください。

📖 本書 19 ページ「準備するときの注意とヒント」

インストールが完了したら、ソフトウェア CD-ROM を取り出してください。

以上で、ソフトウェアのインストールは終了です。

パソコンとスキャナの接続(USB/SCSI)

パソコンとスキャナの接続には、USBケーブル(エプソン製USBCB2)またはSCSIケーブル(エプソン製GTATSCCB3)を使用します。

本機を使用できる環境は以下の通りです。

最新の対応 OS やケーブルについては、エプソンのホームページでご確認ください。

< <http://www.epson.jp/> >

	USB 2.0 * 1	SCSI
Windows	- Windows 2000 Professional - Windows XP Home Edition - Windows XP Professional - Windows XP Professional x64 Edition - Windows Vista 上記 OS のプレインストールモデル、または上記 OS のプレインストールモデルからの OS アップグレード環境で、かつ USB 2.0 インターフェイスを標準装備している環境 (Microsoft 社の USB 2.0 ドライバが必要)。	- Windows 2000 Professional - Windows XP Home Edition - Windows XP Professional - Windows XP Professional x64 Edition - Windows Vista
Mac OS X * 2	Mac OS X v10.2.8 ~ v10.5.x で USB 2.0 インターフェイスを標準装備している環境。	非対応

* 1 : USB 2.0 について詳しくは、本書 19 ページ「準備するときの注意とヒント」をご覧ください。

* 2 : Intel 社製プロセッサ搭載の Macintosh をお使いの方は本書 19 ページ「準備するときの注意とヒント」をご覧ください。

！重要

- USB/SCSI インターフェイスは USB/SCSI 対応機器すべての動作を保証するものではありません。
- 本製品にはオプションも含めて複数のインターフェイスがありますが、同時に使用できません。

USB 接続

1

パソコンの電源がオンになっていることを確認します。

ソフトウェアをインストールしていないときは、以下のページをご覧ください、ソフトウェアをインストールしてください。

🔗 本書 11 ページ「Windows」

🔗 本書 12 ページ「Mac OS X」

2

電源スイッチを押して、スキャナの電源をオンにします。

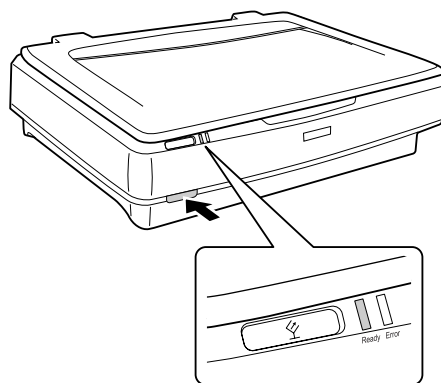
Ready ランプが緑色に点灯していれば、電源はオンになっています。

！重要

スキャナの蛍光ランプが光を發しますので、目を保護するために電源をオンにする前には原稿カバーを閉じてください。

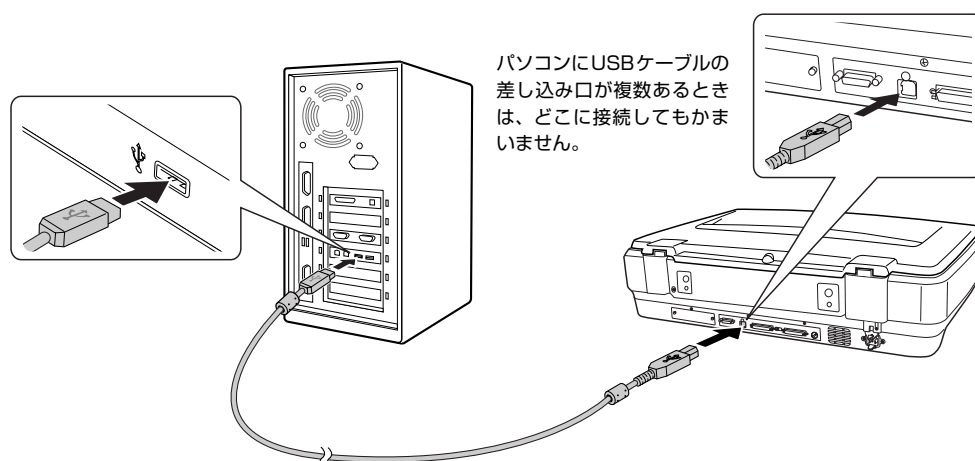
参考

Ready ランプが点滅していると、スキャナは準備中です。点灯するまでお待ちください。



3

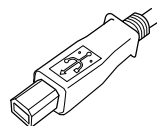
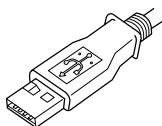
スキャナとパソコンを USB ケーブルで接続します。



USB ケーブルの両端のコネクタの形状は異なります。また、コネクタには表裏があります。差し込み口の形状に合わせて差し込んでください。

パソコン側：薄い

スキャナ側：厚みがあり幅が狭い



参考

- USB ハブを使用して接続するときは、以下のページをご覧ください。
[本書 19 ページ「準備するときの注意とヒント」](#)
- Windows XP をお使いの方で、下のメッセージが表示された場合は右上の [×] をクリックしてください。USB 2.0 と比較してデータ転送速度が遅くなりますが、問題なく使用できます。



Windows をお使いの場合、新しいハードウェアが認識されている画面が表示されます。設定が完了すると、画面は自動的に閉じます。

以上で、USB ケーブルでのパソコンとスキャナの接続は終了です。

SCSI 接続(Windows のみ)

SCSI 接続やターミネータの設定については、以下のページをご覧ください。

📖 本書 19 ページ「準備するときの注意とヒント」

ソフトウェアをインストールしていないときは、以下のページをご覧ください、ソフトウェアをインストールしてください。

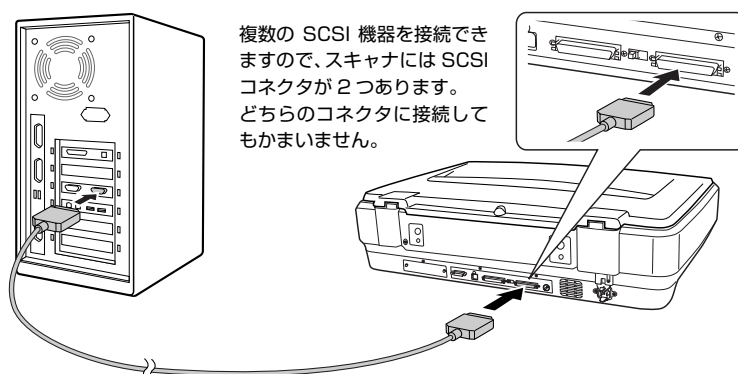
📖 本書 11 ページ「Windows」

1 パソコンの電源がオフになっていることを確認します。

！重要 接続する前に、パソコンとスキャナの電源がオフになっていることを確認してください。電源がオンの状態でケーブルを抜き差しすると、機器自体の故障の原因になります。

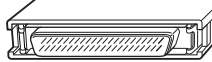
2 スキャナとパソコンを SCSI ケーブルで接続します。

カチッと音がするまで差し込んでください。



お使いの SCSI ボードや SCSI 機器のコネクタに合うケーブルをお買い求めください。

スキャナ側の SCSI コネクタは、50 ピン高密度ピンタイプです。

型番	ケーブル仕様	パソコン側	スキャナ側
エプソン製 GTATSCCB3	50 ピン高密度ピンタイプ× 50 ピン高密度ピンタイプ（シールド側）		

3 スキャナの電源をオンにします。

4 パソコンの電源をオンにします。

以上で、SCSI ケーブルでのパソコンとスキャナの接続は終了です。

接続の確認

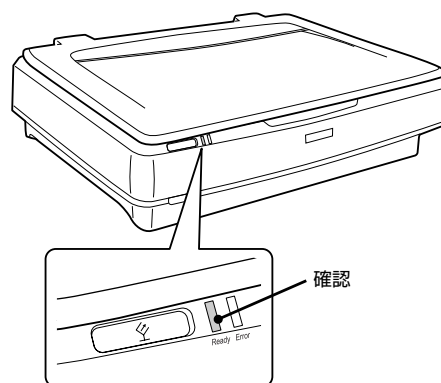
ソフトウェアがインストールされ、スキャナが正しく接続されているか確認します。

ローカル接続の場合(Windows のみ)

1 スキャナの電源がオンになっていることを確認します。

Readyランプが点滅していると、スキャナは準備中です。点灯するまでお待ちください。

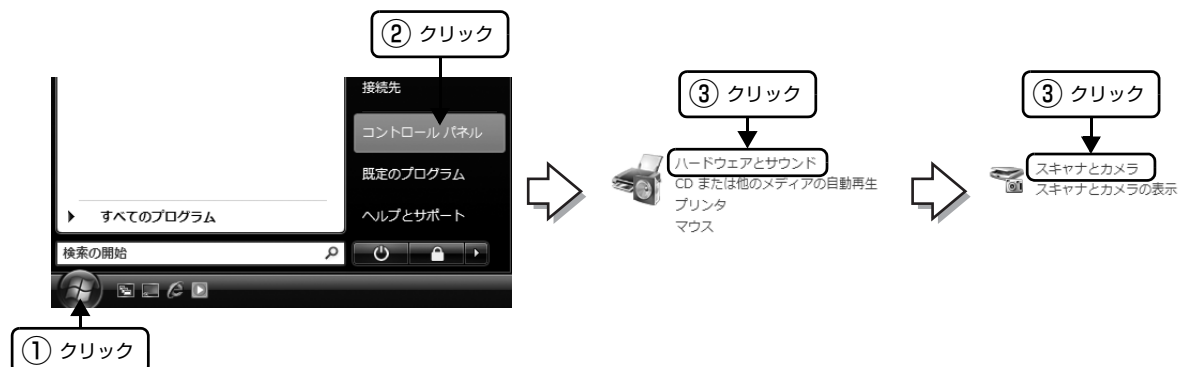
Ready ランプが緑色に点灯していれば、正常に動作しています。



2 【スキャナとカメラ】画面を開きます。

< Windows Vista の場合 >

【スタート】 - 【コントロールパネル】 - 【ハードウェアとサウンド】 - 【スキャナとカメラ】 の順にクリックします。



< Windows XP の場合 >

【スタート】 - 【コントロールパネル】 - 【プリンタとその他のハードウェア】 - 【スキャナとカメラ】 の順にクリックします。

< Windows 2000 の場合 >

① 【スタート】 - 【設定】 - 【コントロールパネル】 の順にクリックします。

② 【スキャナとカメラ】 アイコンをダブルクリックします。

3

アイコンが表示されていることを確認します。

本製品のアイコンが表示されていれば、スキャナは正しく接続されています。

アイコンが表示されていないときは、以下のページをご覧ください、EPSON Scan のみインストールし直してください。

📖 本書34ページ「添付ソフトウェアの再インストール」

アイコンが表示されていることを確認したら、画面を閉じてください。

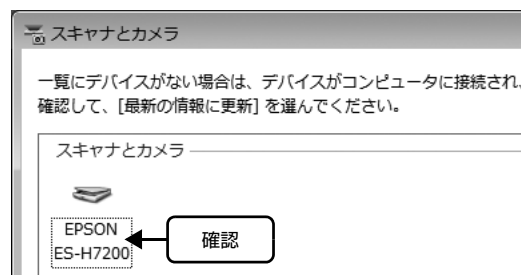
以上で、接続の確認は終了です。

これで、スキャンをするための準備が完了しました。

スキャンしてみましょう。

📖 22 ページへ進みます。

< Windows Vista の場合 >



ネットワーク接続の場合

使用できるネットワーク接続用オプションについては以下のページをご覧ください。また、接続方法についてはネットワーク接続用オプションの取扱説明書をご覧ください。

📖 本書 38 ページ「コピーユニット / ネットワーク接続用オプションについて」

参考

- 管理者権限のあるユーザーでログインしてください。
- Windows Vista で管理者のパスワードまたは確認を求められたときは、パスワードを入力して操作を続行してください。

1

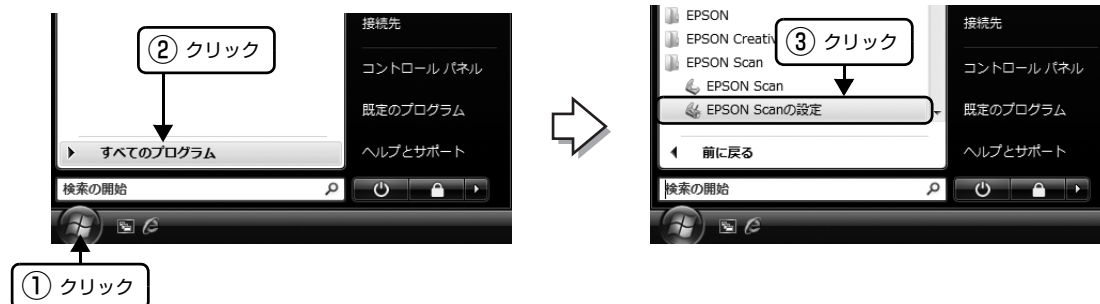
スキャナの電源をオンにします。

2

「EPSON Scan の設定」画面を開きます。

< Windows の場合 >

[スタート] - [すべてのプログラム] (または [プログラム]) - [EPSON Scan] - [EPSON Scan の設定] をクリックします。



< Mac OS X の場合 >

ハードディスク [アプリケーション] フォルダー [ユーティリティ] フォルダー [EPSON Scan の設定] アイコンをダブルクリックします。

3

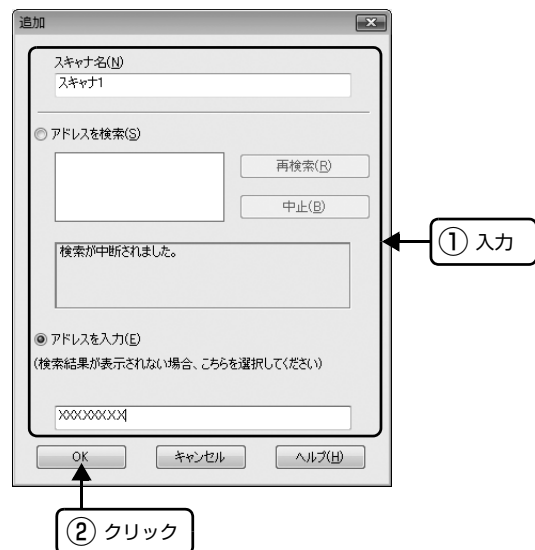
① [スキャナの選択] で [EPSON ES-H7200] を選択し、② [ネットワーク接続] を選択して、③ [追加] をクリックします。



4

ネットワーク設定をします。

スキャナ名とネットワークスキャナのIPアドレスを検索または入力し、[OK] をクリックします。



5

[テスト] をクリックしてネットワーク接続の状態を確認します。

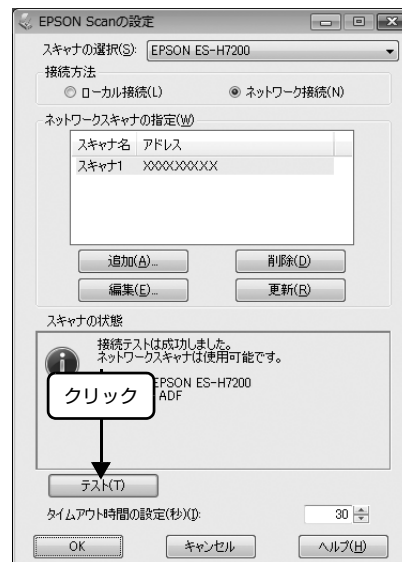
使用可能な状態を確認したら、画面の [OK] をクリックして画面を閉じてください。

以上で、接続の確認は終了です。

これで、スキャンするための準備が完了しました。

スキャンしてみましょう。

➡ 22 ページへ進みます。



準備するときの注意とヒント



Windows 2000/Windows XP/Windows Vista をお使いの方は、ソフトウェアをインストールする前に以下の内容を確認してください。

- Windows 2000 にソフトウェアをインストールするときは、管理者権限のあるユーザー (Administrators グループに属するユーザー) でログインする必要があります。
- Windows XP にソフトウェアをインストールするときは、コンピュータの管理者アカウントのユーザーでログインする必要があります。制限付きアカウントのユーザーではインストールできません。Windows XP をインストールしたときのユーザーは、コンピュータの管理者アカウントになっています。
- Windows Vista にソフトウェアをインストールするときは、「コンピュータの管理者」アカウント (管理者権限のあるユーザー) でログインしてください。なお、管理者のパスワードまたは確認を求められることがあります。パスワードを求められたときは、パスワードを入力してインストールを続行してください。
- Windows XP/Windows Vista では、複数のユーザーが同時に 1 台のパソコンを使用することができます (マルチユーザーログイン)。ソフトウェアをインストールするときは、一人 (コンピュータの管理者) だけがログインした状態で行ってください。



ソフトウェア CD-ROM をパソコンにセットしても、[EPSON インストールプログラム] 画面が表示されないときは、以下の手順に従ってください。

- Windows XP/Windows Vista の場合
[スタート] — [マイコンピュータ] ([コンピュータ]) の順にクリックし、[CD-ROM] アイコンをダブルクリックします。
- Windows 2000 の場合
デスクトップ上の [マイコンピュータ] アイコンをダブルクリックし、[CD-ROM] アイコンをダブルクリックします。



「MyEPSON」登録のお願い

インストール終了後、デスクトップに以下の「[MyEPSON] アシスタント」のショートカットアイコンが作成されます。これをダブルクリックすると、「MyEPSON」登録画面が表示されますので、画面の指示に従って「MyEPSON」に登録 (ユーザー登録) していただくことをお勧めします。



Mac OS X をお使いの方は、ソフトウェアをインストールする前に、以下の内容を確認してください。

- 本製品は Mac OS X v10.2.8~v10.5.x に対応しています。
- Classic 環境での動作はサポートしておりません。
- UNIX ファイルシステム (UFS 形式) はサポートしておりません。他のドライブでお使いください。
- Mac OS X v10.3 以降では、複数のユーザーが同時に 1 台のパソコンにログインすることができません (ファストユーザスイッチまたはファーストユーザスイッチ機能)。EPSON Scan はファストユーザスイッチ (ファーストユーザスイッチ) 機能には対応しておりませんので、インストールおよび使用時にはファストユーザスイッチ (ファーストユーザスイッチ) 機能をオフにしてください。また、インストール時は、コンピュータの管理者だけがログインした状態で行ってください。



本製品の USB2.0 対応については、以下の内容を確認してください。

- USB2.0 非対応のパソコンをお使いのときは、USB1.1 として動作します (USB2.0 と比較してデータ転送速度が遅くなります)。
- USB2.0 を使用しても原稿と解像度によっては、スキャンに時間がかかることがあります。また、USB1.1 と比べてもあまり高速な結果が得られないことがあります。
- USB2.0 用インターフェイスボードまたは PC カードによって増設したときには、マイクロソフト社製 USB2.0 ドライバが必要になります。マイクロソフト社製 USB2.0 ドライバの入手方法はマイクロソフト株式会社のホームページでご確認ください。
- USB ハブをお使いのときは、USB2.0 に対応しているものをお使いください。
- USB2.0 非対応のハブをお使いのときは、USB1.1 として動作します (USB2.0 と比較してデータ転送速度が遅くなります)。



Windows XP Professional x64 Edition/Windows Vista (64 bit) をお使いの方は、以下の内容を確認してください。

- マルチスレッド処理に対応した TWAIN 対応アプリケーションソフトでは、使用することはできません。詳しくは、各アプリケーションソフトメーカーへお問い合わせください。
- 他社 TWAIN 対応アプリケーションソフトの Windows XP Professional x64 Edition/Windows Vista (64bit) 対応状況に関しては、各アプリケーションソフトメーカーへお問い合わせください。
- EPSON Scan は Windows XP Professional x64 Edition/Windows Vista (64bit) 上で動くことができる 32bit スキャナドライバです。



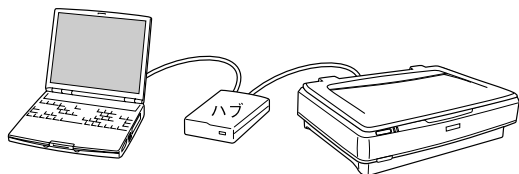
Intel 社製プロセッサ搭載の Macintosh をお使いの方は、以下の内容を確認してください。

- 他社 TWAIN 対応アプリケーションソフトの Intel プロセッサ搭載の Macintosh 対応状況に関しては、各アプリケーションソフトメーカーへお問い合わせください。
- Rosetta/PowerPC用のEPSON Scan(スキャナドライバ)がインストールされていると、本製品のEPSON Scan が正常に動作しないことがあります。Rosetta/PowerPC 用の EPSON Scan を削除 (アンインストール) してから、本製品のドライバをインストールしてください。
- Intel 社製プロセッサ搭載の Macintosh では、複数のエプソン製スキャナを同一ソフトウェアで使用できません。一旦、ソフトウェアを終了し、機種を切替えてからお使いください。



USB ハブを使用して接続するときは、接続方法を確認してください。

- USB 2.0 非対応のハブをお使いのときは、USB 1.1 として動作します (USB 2.0 と比較してデータ転送速度が遅くなります)。
- USB ハブに接続するときは、下図のように必ずパソコンに直接接続している 1 段目の USB ハブに接続してください。



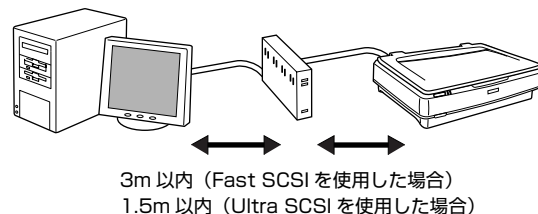
- USB 2.0 の接続環境については、以下のページをご覧ください。
本書 13 ページ「パソコンとスキャナの接続 (USB/SCSI)」
- USB インターフェイスは USB 対応機器すべての動作を保証するものではありません。また、USB ハブを使用して接続するときは、USB ケーブル (EPSON 製 USB CB2) を使用してください。



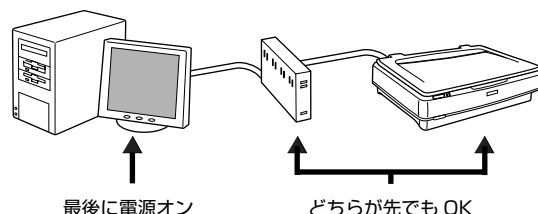
SCSI 接続のときは、以下の内容を確認してください。

- SCSI (スカジー) 接続は、スキャナをはじめ、外付けハードディスク、CD-ROM ドライブなどの周辺装置を最大 7 台まで接続することを可能にします。これらの機器は SCSI 機器または SCSI デバイスと呼ばれ、デジチェーン (数珠つなぎ式) で 1 台のパソコンに接続できます。
- Ultra SCSI (50 ピンコネクタ) は 8bit でデータを転送し、最大データ転送速度は 20MB/秒です。パソコンに装着している SCSI ボードが Ultra SCSI 対応のときは、Ultra SCSI で接続した方が画像を速く取り込むことができます。なお、Fast SCSI (50 ピンコネクタ) のデータ転送幅は 8bit、最大データ転送速度は 10MB/秒です。
- 複数の SCSI 機器を接続するときは、お使いの SCSI ボードや SCSI 機器のコネクタに合うケーブルをお買い求めください。

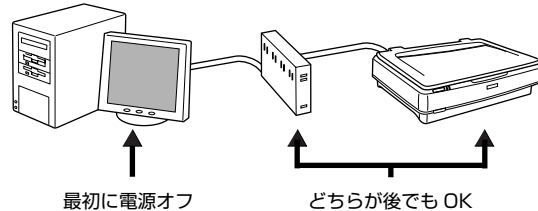
- 複数の SCSI 機器を Fast SCSI で接続するときは、デジチェーン全体のケーブル総延長を 3 メートル以内にしてください。複数の SCSI 機器を Ultra SCSI で接続するときは、デジチェーン全体のケーブル総延長を 1.5 メートル以内にしてください。これ以上延長すると SCSI 機器全体の動作が不安定になることがあります。



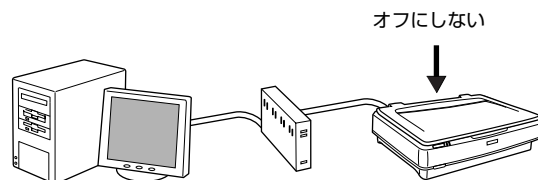
- SCSI 機器を接続したときは、まず SCSI 機器から電源をオンにし、最後にパソコンの電源をオンにしてください。先にパソコンの電源をオンにすると、SCSI 機器が認識されません。また、パソコンが正常に動作しないことがあります。



- 電源をオフにする時は、まずパソコン、次に SCSI 機器の順でオフにしてください。



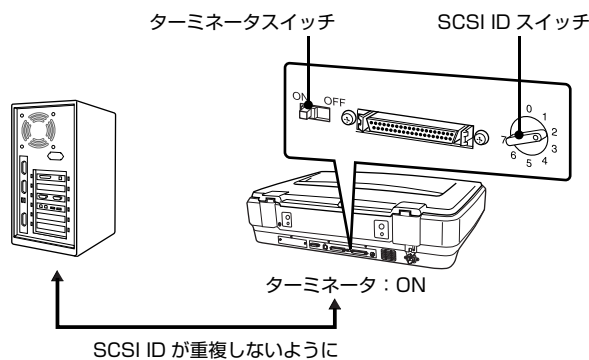
- パソコンの使用中は、ターミネータが ON (有効) になっている SCSI 機器の電源をオフにしないでください。また、パソコンの使用中にスキャナの電源をオン/オフすると、正常に取り込みができなくなることがあります。



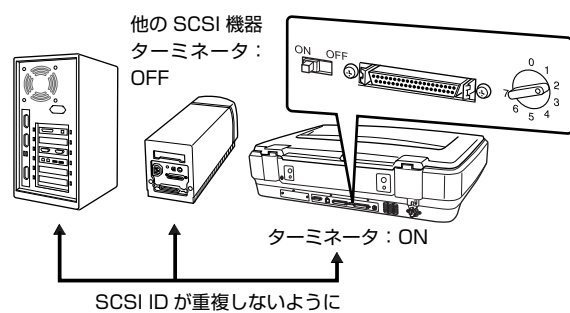


SCSI ID とターミネータの設定は、以下の内容を確認してください。

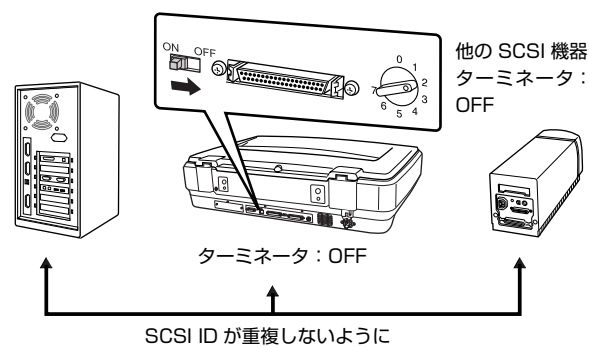
- スキャナを単独で接続するときは、出荷時設定のままお使いください。
SCSI ID スイッチは ID=2、ターミネータスイッチは ON のままです。



- デイジーチェーンの終端に接続するときは、ターミネータスイッチを ON のまま（出荷時設定）、SCSI ID スイッチは ID=1 ～ 6 で他の機器が使用していない番号に設定します。7 には設定しないでください。



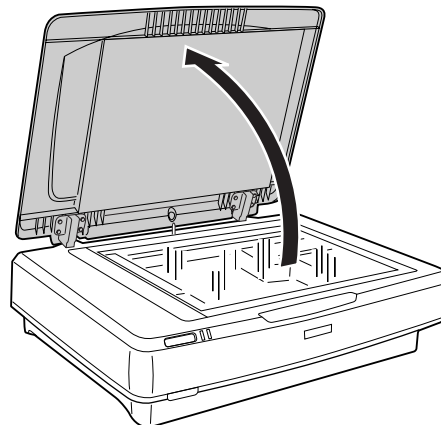
- デイジーチェーンの途中に接続するときは、ターミネータスイッチを OFF にしてください。
SCSI ID スイッチは ID=1 ～ 6 で他の機器が使用していない番号に設定します。7 には設定しないでください。



原稿のセット方法

ここでは、原稿台への原稿のセット方法を説明します。

1 原稿カバーを開けます。



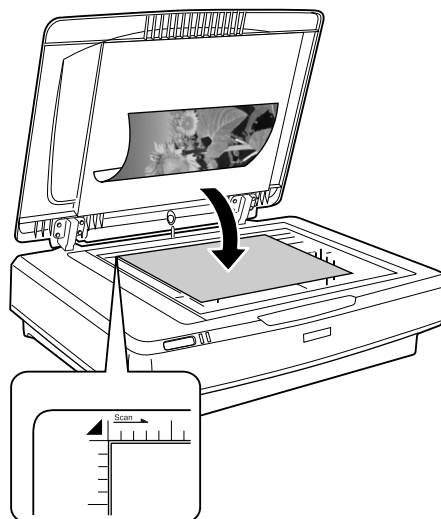
2 原稿をセットします。

原稿はスキャンする面を下に向け、原稿台左奥の▲マークに原稿を合わせて、まっすぐにセットします。スキャンできない領域やセット時の注意は、以下のページをご覧ください。

📖 本書 29 ページ「写真や雑誌のセット」

！重要

原稿台や原稿カバーに強い力をかけないでください。破損するおそれがあります。



3 原稿が動かないように、原稿カバーをゆっくり閉じます。

原稿が傾くと、斜めにスキャンされてしまいます。

原稿カバーを閉じるときに発する赤い光は、原稿検知のためです。

！重要

- 写真などの原稿を原稿台の上にセットしたまま、長時間放置しないでください。原稿台に貼り付くおそれがあります。
- 原稿カバーで指を挟まないよう注意しながら、ゆっくり閉じてください。

以上で、原稿のセットは終了です。

この後は、パソコンで画像をスキャンします。

原稿をスキャンする

ここでは、雑誌や書類などの印刷物をスキャンする方法を説明します。

以下の手順に従って、まずはスキャンしてみましょう。

原稿のセット方法は以下のページをご覧ください。

📖 本書 22 ページ「原稿のセット方法」

！重要 EPSON Scan 使用時は電源コードまたは USB/SCSI ケーブルの抜き差しや、電源のオン / オフはしないでください。本製品またはパソコンの動作不良や故障につながるおそれがあります。

1 パソコンで EPSON Scan を起動します。

Windows の場合	Mac OS X の場合
デスクトップ上の [EPSON Scan] アイコンをダブルクリックします。  [EPSON Scan] アイコンがないときは、本書 29 ページ「EPSON Scan の起動方法 (Windows)」をご覧ください。	ハードディスク [アプリケーション] フォルダ [EPSON Scan] アイコンの順にダブルクリックします。 

2 EPSON Scan が起動したら、[イメージタイプ] を原稿と目的に合わせて選択します。

ここでは、オフィスモードでの手順を例に説明します。

他のモードでスキャンしたいときは、『活用＋サポートガイド』をご覧ください。



項目名	説明
イメージタイプ	カラー画像としてスキャンするか、グレースケール（白黒写真）またはモノクロ画像としてスキャンするかを選択します。

3 [取込装置]、[サイズ]、[方向] を原稿に合わせて選択します。



項目名	説明
取込装置	[原稿台] を選択します。
サイズ	セットした原稿のサイズを選択します。[自動検知] を選択すると、原稿サイズが自動的に検知されます。 (自動検知対応の原稿サイズは A3 縦、WLT 縦、B4 縦、Legal 縦、A4 縦、A4 横、LT 縦、LT 横、B5 縦、B5 横、A5 縦、A5 横です。) 希望するサイズがリストにないときは、リストから [ユーザー定義サイズ] を選択してください。表示される [原稿サイズ] 画面で希望するサイズを設定し、[保存] ボタンをクリックしてください。[プレビュー] ボタンをクリックしてプレビューし、取り込み枠を作成すると [ユーザー定義] が選択されます。
方向	セットした原稿の方向を選択します。

4 [解像度] を用途に合わせて選択します。

用途	解像度の目安
メールへの添付画像	96 ~ 150dpi
OCR (光学文字認識)	400dpi
インクジェットプリンタでカラー印刷	300dpi
文書ファイリング	300dpi
FAX 送信	200dpi
テキスト検索可能な PDF	200 ~ 1200dpi

解像度について詳しくは、『活用+サポートガイド』の「解像度を上げるときれいになる?」をご覧ください。
 ☞ 本書 28 ページ「詳しい使い方 (活用+サポートガイドのご案内)」



5 [プレビュー] をクリックします。 スキャンする範囲を指定したいときは、以下のページをご覧ください。 ☞ 本書 31 ページ「取り込み枠の作り方」

参考

オートドキュメントフィーダ装着時は、プロフェッショナルモードでサムネイル表示はできません。



6

必要に応じて画質を調整します。

プレビュー画面で調整の効果が確認できます。

「イメージタイプ」の設定によって、調整できる項目は異なります。詳しくは、『活用＋サポートガイド』をご覧ください。

本書 28 ページ「詳しい使い方（活用＋サポートガイドのご案内）」



「イメージタイプ」が「カラー」/「グレースケール」の場合

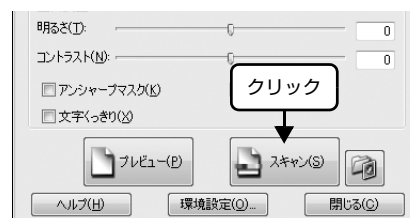
項目名	説明
明るさ / コントラスト	スキャンした画像が明るすぎる、または暗すぎる時に調整します。
アンシャープマスク	画像をシャープにしたいときにチェックします。
モアレ除去	印刷物（雑誌、カタログなど）のスキャンで発生するモアレ（網目状の陰影）が目立つときにチェックします。
文字くっきり	書類などの文字がぼやけているときにチェックします。

「イメージタイプ」が「モノクロ」の場合

項目名	説明
しきい値	文字原稿や図面などで、文字や線がかすれたりつぶれたりするときに調整します。 しきい値とは、画像を白と黒の（2 値）データでスキャンするときの、白黒の境を決めるものです。

7

「スキャン」をクリックします。



【保存ファイルの設定】画面が表示されます。①各項目を設定し、②【OK】をクリックします。

スキャンが開始します。

ここでは例として、保存形式で PDF または Multi-TIFF 形式を選択します。必要に応じて各項目を設定してください。

参考

- PDF と Multi-TIFF 形式を選択すると、複数ページのデータを 1 つのファイルにまとめて保存できます。
- PDF 形式または Multi-TIFF 形式でスキャンする際に、解像度、原稿の枚数またはハードディスクの空き容量の組み合わせによってスキャンが途中で止まる場合があります。このときは、解像度を下げるかハードディスクの空き容量を増やしてください。
- PDF 形式のファイルを開くには Adobe Acrobat、Acrobat Reader または Adobe Reader が必要です。入手方法や最新情報については、アドビシステムズ社のホームページをご覧ください。
< <http://www.adobe.com/jp/> >



項目名	説明
保存先	スキャンした画像を保存するフォルダを以下から選択します。 Windows：[マイドキュメント]、[マイピクチャ]、[その他] Mac OS X：[書類]、[ピクチャ]、[その他] [その他] の初期設定では [デスクトップ] が選択されています。保存先を変更したいときは [その他] をクリックしてから、[参照] (Windows) / [選択] (Mac OS X) をクリックし、表示される画面でフォルダを選択または新規作成してください。画像を開く際フォルダ名を指定しますので、保存したフォルダ名を覚えておいてください。
ファイル名	(文字列+数字 3 桁) 画像のファイル名を設定します。 初期設定では、img001、img002、img003…と連番で保存されます。
保存形式	画像の保存形式を選択します。[詳細設定] をクリックした画面でファイル形式に関する詳細な設定をすることができます。 PDF 形式を選択したら [詳細設定] をクリックし、表示された画面で [用紙サイズ] が原稿台にセットした用紙と同じサイズが選択されているか確認してください。ここで選択されたサイズでスキャンされます。また、PDF ファイル内のテキストを検索、自動的に正しい向きに回転、パスワードで変更を保護するなどの設定ができます。 保存形式については『活用+サポートガイド』の「画像ファイル形式について」をご覧ください。
同一ファイル名が存在する場合、常に上書きする	同じ名前のファイルが存在していると上書き保存します。
次回スキャン前に、このダイアログを表示する	EPSON Scan の [スキャン] をクリックするたびに、この画面を表示します。
スキャン後、保存フォルダを開く	スキャン後に、[保存先] で指定したフォルダが開きます。
スキャン後、ページ追加の確認ダイアログを表示する	保存形式で、PDF または Multi-TIFF 形式を選択したとき [ページ追加の確認] 画面を表示します。

9

右の画面が表示されたら、[ファイル保存] をクリックします。

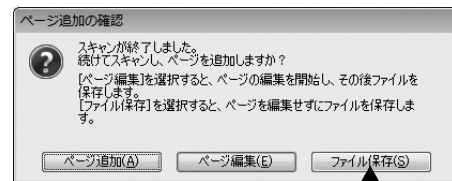
自動的にファイル名を付けて保存します。これでスキャンは終了です。

ページの順番を入れ替える、回転するときは、[ページ編集] をクリックして手順 10 に進みます。

複数の原稿をまとめてスキャンするときは、[ページ追加] をクリックし、原稿が終わるまで手順 7 に戻りスキャンします。

参考

- スキャンが途中で止まってしまうときは、『活用＋サポートガイド』の「その他のトラブル」をご覧ください。
☞ 本書 28 ページ「詳しい使い方（活用＋サポートガイドのご案内）」
- スキャン中に [キャンセル] をクリックしたり、エラーが発生したときは、表示された画面で [ページ編集] をクリックすると、スキャン済みの画像が一時的に保存されますので手順 11 に進んでください。スキャンしたファイルをすぐに保存するときは [ファイル保存]、保存せずに EPSON Scan を終了するときは [保存しない] をクリックしてください。
スキャン済みの画像が 1 つもないときは手順 7 に戻ります。



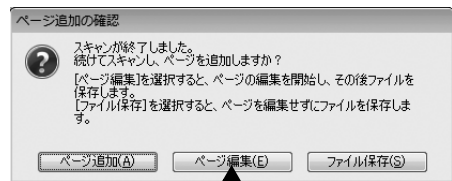
クリック

10

原稿をすべてスキャンしたら、[ページ編集] をクリックします。

参考

PDF 形式でスキャンできる原稿は 999 枚まで、Multi-TIFF 形式では 200 枚までです。

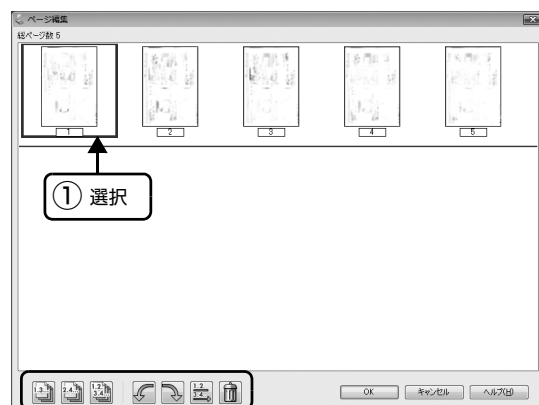


クリック

11

① 編集するページを選択し（青い枠が付きます）、
② [ページ編集] 画面の下にあるボタンをクリックして編集します。

PDF ファイルは [ページ編集] 画面に表示されているページ順で保存されます。順番を変えるには、ページを選択して移動したい場所にドラッグします。複数のページをまとめて移動することはできません。



② クリック

12

[OK] をクリックします。

保存形式で PDF または Multi-TIFF 形式を選択したときは、[ページ編集] 画面に表示されている全ページが 1 ファイルにまとめて保存されます。

以上で、原稿をスキャンする方法の説明は終了です。

詳しい使い方 (活用+サポートガイドのご案内)

活用+サポートガイドとは

『活用+サポートガイド』とはパソコンの画面でご覧いただくマニュアルです。ソフトウェアのインストール時にパソコンにインストールされます。(CD-ROM を毎回セットする必要はありません。)

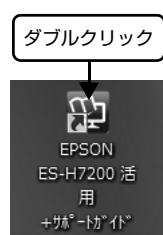


参考 『活用+サポートガイド』は、Microsoft Internet Explorer (Version 5.0 以上) などのブラウザでご覧いただけます。また、PDF データをダウンロードしてご覧いただくこともできます。ダウンロードサービスについては、以下のホームページをご覧ください。
< <http://www.epson.jp/support/manual/> >

活用+サポートガイドの表示方法

デスクトップ上の [EPSON ES-H7200 活用+サポートガイド] のアイコンをダブルクリックして表示します。

< Windows の場合 >

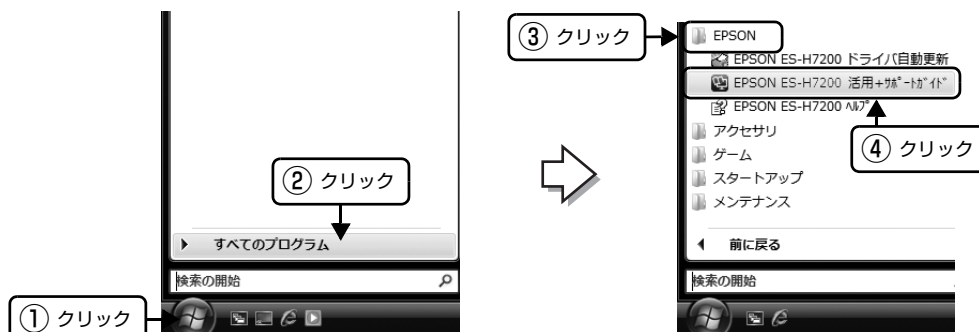


< Mac OS X の場合 >



参考 デスクトップ上に [EPSON ES-H7200 活用+サポートガイド] のアイコンがないときは、以下の手順で表示します。

- Windows の場合
① [スタート] – ② [すべてのプログラム] (または [プログラム]) – ③ [EPSON] – ④ [EPSON ES-H7200 活用+サポートガイド] の順にクリックします。

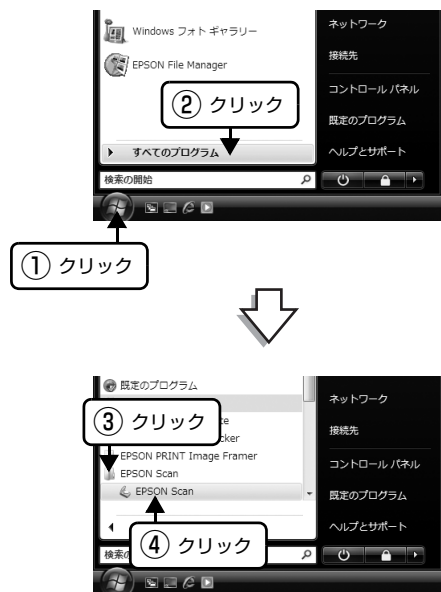


- Mac OS X の場合
ハードディスク内の [アプリケーション] – [EPSON] – [TPMANUAL] – [ES-H7200] – [JPN] – [GUIDE] フォルダの順にダブルクリックし、[INDEX.html] アイコンをダブルクリックします。

スキャン時の注意とヒント

EPSON Scan の起動方法(Windows)

[EPSON Scan] アイコンがデスクトップ上にないときは、① [スタート] – ② [すべてのプログラム] (または [プログラム]) – ③ [EPSON Scan] – ④ [EPSON Scan] の順にクリックします。



TWAIN とは

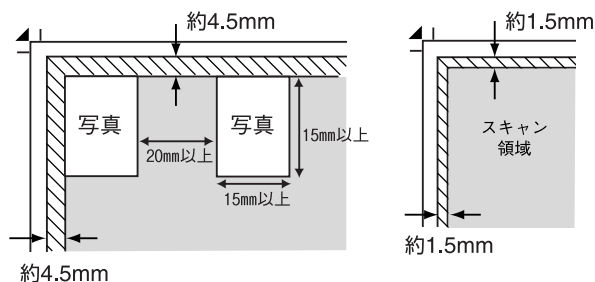
スキャナを制御するソフトウェア (スキャナドライバ) からアプリケーションソフトに画像を受け渡すための標準規格です。画像をスキャンするためには、TWAIN 規格に対応したスキャナドライバが必要です。本製品用のスキャナドライバ「EPSON Scan」は、TWAIN 規格に対応しています (EPSON Scan は 11 ページ (Windows)、または 12 ページ (Mac OS X) でインストール済みです)。

写真や雑誌のセット

- 原稿台にはスキャンされない範囲があります。下図でスキャンされない範囲を確認し、スキャン領域内に原稿をセットしてください。
- 複数の写真を並べてセットするときは、写真と写真の間隔を 20mm 以上あけてセットしてください。

<サムネイルプレビュー選択時>

<左記以外選択時>



※斜線の範囲はスキャンされません。

- 原稿はまっすぐセットしてください。
- 原稿はスキャンする面が平らなものを使用してください。スキャンする面がゆがんでいると、ゆがんだままスキャンされます。
- 原稿台のガラス面はいつもきれいにしておいてください。
📖 本書 45 ページ「輸送時のご注意 / お手入れ」
- 原稿を強く押さえ付けしないでください。強く押さえ付けると、スキャンした画像にシミやムラ、斑点が出る場合があります。

サムネイル表示について

サムネイル表示に対応した原稿は、写真（カラー／モノクロ）のみです。

複数枚の原稿をセットした場合や1つの原稿の中に複数の画像がある場合は、原稿を自動認識してそれぞれをコマとして切り出します。また、雑誌／写真の傾きを自動的に補正し、写真の上下左右の向きを判別して、自動的に正しい向きに回転してスキャンします。なお、サムネイル表示は通常表示と比べてプレビューに時間がかかります。

取り込み枠の作り方については、以下のページをご覧ください。

📖 本書 31 ページ「取り込み枠の作り方」



青い枠が付いている画像の出力サイズ設定や画質調整ができます。 チェックが付いている画像をスキャンします。

ボタン	説明
	サムネイルを時計回りに 90 度回転して表示します。縦長の原稿を横向きにセットしたときなどに、上下の向きを正しくすることができます。回転すると、スキャンした画像も同様に回転されます。
	サムネイルの左右を反転して表示します。鏡像反転すると、鏡像反転していることを示すために、サムネイルの下にアイコンが表示されます。
	選択している（破線表示の）取り込み枠を消去します。
	すべてのコマを選択します。 すべてのコマに対して同じ画像調整をしたり、回転／反転させるときに便利です。
	〔デンストメータ〕画面を表示します。プレビュー画像上の画素情報（RGB 値や輝度値）を確認できます。

サムネイル表示では、原稿や条件によって思い通りに画像をスキャンできないことがあります。そのときは、通常表示でのスキャンをお勧めします。

通常表示について

スキャンできる領域全体をプレビューして表示します。

スキャンする範囲を複数指定して、まとめてスキャンすることができます。

取り込み枠の作り方については、以下のページをご覧ください。

📖 本書 31 ページ「取り込み枠の作り方」



ボタン	説明
	原稿を再プレビューし、選択している（破線表示の）取り込み枠をズーム表示します。スキャンする領域が小さいときにお使いください。ズーム表示すると、取り込み枠内の露出（画像の明暗）が自動調整されます。
	選択している（破線表示の）取り込み枠を消去します。
	選択している（破線表示の）取り込み枠をコピーします。50 個までコピーできます。
	原稿の全領域を自動選択します。 原稿カバーの裏側が汚れていると、汚れている部分が領域に含まれることがありますのでご注意ください。 原稿に複数の画像があるときは、スキャンしたい画像より少し大きめの範囲をマウスでドラッグして選択してから、〔自動領域選択〕をクリックします。そうすることにより目的の領域をより簡単に選択することができます。 自動選択機能は〔取込装置〕で〔原稿台〕または〔ADF-片面〕、〔原稿種〕で〔反射原稿〕を選択したときのみ使用できます。 原稿や条件によって、うまく切り出せないときはプレビュー後、手動で取り込み枠を選択し、スキャンしてください。
	作成した取り込み枠の総数が表示されます。
	作成したすべての取り込み枠を選択します。選択した取り込み枠は破線表示されます。すべての取り込み枠内の画像に対して同じ調整をするときに便利です。
	〔デンストメータ〕画面を表示します。プレビュー画像上の画素情報（RGB 値や輝度値）を確認できます。

サムネイル表示で画像を選択してスキャンするには

スキャンしたいコマの下にチェックボックスにチェックの付いた画像がスキャンされます。

プレビュー時は、すべてのコマにチェックが付いていますので、スキャンする必要のない画像はチェックを外してください。



出力サイズについて(写真をスキャンする場合)

- ・[原稿種] で [プリント写真] を選択すると、[出力サイズ] が自動的に [等倍] に設定されます。[出力サイズ] で [等倍] を選択すると、取り込み枠は表示されません。
- ・使用する写真と異なるサイズでスキャンするときは、コマまたは取り込み枠ごとに [出力サイズ] でサイズを選択してから、取り込み枠の位置を調整します。



- ・選択したサイズの縦横比によっては、画像の一部がスキャンされません。スキャンする範囲は、プレビュー画面の破線で確認してください。

取り込み枠の作り方

プレビュー画面でマウスをドラッグ(マウスボタンを押したままマウスを移動)して取り込み枠を作成し、スキャンする範囲を指定します。

取り込み枠は、通常表示の場合は 50 個まで、サムネイル表示の場合は 1 コマに対して 1 個のみ作成できます。詳しくは、『活用+サポートガイド』の「必要な部分だけを切り取ってスキャン」をご覧ください。

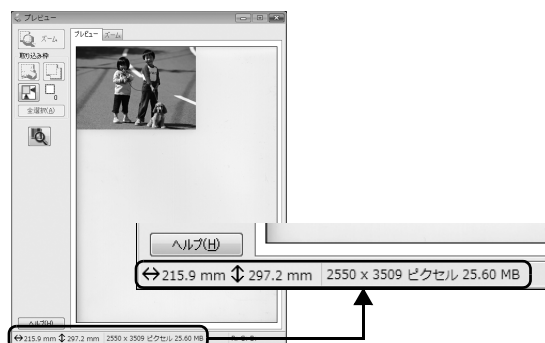
本書 28 ページ「詳しい使い方(活用+サポートガイドのご案内)」



カーソルの形状	説明
+	カーソルが左図の形状のときは、取り込み枠を作成できます。ドラッグして、取り込み枠を作成します。
✎	取り込み枠の中にカーソルを移動すると、カーソルが左図の形状に変わります。ドラッグして、取り込み枠を移動します。
↕ ↔ ↗ ↘	取り込み枠の線上にカーソルを移動するとカーソルが左図の形状に変わります。ドラッグして、取り込み枠を拡大 / 縮小します。 ただし、[出力サイズ] で [等倍] 以外を選択した場合は、取り込み枠を拡大 / 縮小しても縦横比は維持されます。

プレビュー画面で取り込み枠を作成すると、プレビュー画面左下に選択している取り込み枠のサイズ(ミリメートルまたはインチ)、スキャン後の画像サイズ(ピクセル)、ファイルサイズの目安が表示されます。

取り込み枠を変更すると、サイズも変わりますので、取り込み枠を作成するときの参考にしてください。



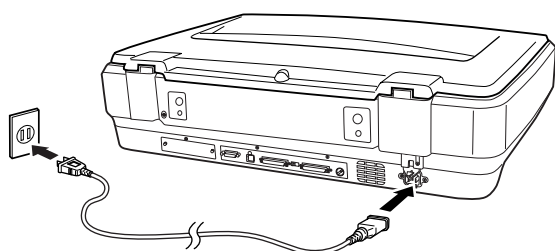
トラブル解決法

対処方法を記載しています。

電源とランプに関するトラブル

スキャナの電源が入らない

- ✓ **電源プラグがコンセントから抜けていないかご確認ください。**
差し込みが浅かったり、斜めに差し込まれていないかもご確認ください。



- ✓ **他の電化製品の電源プラグを差し込んで、電源が入るかをご確認ください。**
他の電化製品の電源が入る場合は、スキャナの故障が考えられます。また、AC100Vの電源コンセントをお使いください。

Error ランプと Ready ランプが点灯した

- ✓ **ソフトウェアの設定や送られてきたコマンドに誤りがあります。**
ソフトウェアでスキャン操作をもう一度やり直してください。スキャナをリセットする必要はありません。

Error ランプのみが点滅した

- ✓ **SCSI の接続や設定が正しくされていますか？**
SCSI の接続が設定に誤りがあります。SCSI の接続や設定を確認してください。
☞ 本書 15 ページ「SCSI 接続 (Windows のみ)」
☞ 本書 19 ページ「準備するときの注意とヒント」
それでもエラーが解除されなければ、スキャナの電源をオフにし、10 秒ほど待ってからオンにしてください。

Error ランプと Ready ランプが点滅した

！重要

スキャナの電源をオフにし、以下の項目を確認してください。

- ✓ **電源コード、ケーブルが正しく接続されていますか？**
スキャナの電源がオンになっているか、USB/SCSI ケーブルが本製品の USB/SCSI コネクタおよびパソコンにしっかりと接続されているかご確認ください。
- ✓ **スキャナドライバ (EPSON Scan) は正常にインストールされていますか？**
EPSON Scan がインストールされていないときは、EPSON Scan をインストールしてください。
☞ 本書 11 ページ「ソフトウェアをインストールする」
- ✓ **オートドキュメントフィーダに紙が詰まっていますか？**
紙が詰まっているときは、以下のページをご覧ください。紙を取り除いてください。
☞ 本書 36 ページ「オートドキュメントフィーダ使用時のトラブル」

上記を確認してもエラーが起こるときは、スキャナの故障が考えられます。エプソンの修理窓口にご相談ください。

☞ 本書 49 ページ「サービス・サポートのご案内」

Ready ランプのみが点灯した

- ✓ **オートドキュメントフィーダを正しく閉じて、原稿がセットされていますか？**
オートドキュメントフィーダが完全に閉じているか、オートドキュメントフィーダに原稿がセットされているか確認してください。

インストールのトラブル

ソフトウェアのインストールが途中で止まってしまう



必要なシステム条件を満たしているかご確認ください。

ハードディスクの空き容量やメモリの空き容量などが少ないと、ソフトウェアをインストールできないことがあります。

☞ 本書 46 ページ「仕様」



お使いのパソコンが USB/SCSI を使用できるかどうかご確認ください。

USB/SCSI に対応していないパソコンでは使用できません。

☞ 本書 13 ページ「パソコンとスキャナの接続 (USB/SCSI)」

☞ 本書 19 ページ「準備するときの注意とヒント」

☞ 本書 46 ページ「仕様」

添付ソフトウェアの削除

添付のソフトウェアを削除するときは、以下の手順で行います。

Windows Vista/Windows XP の場合

参考

ソフトウェアを削除するときは、管理者権限のあるユーザーでログインしてください。Windows Vista で管理者のパスワードまたは確認を求められたときは、パスワードを入力して操作を続行してください。



1 **【スタート】 — 【コントロールパネル】 の順にクリックします。**



2 **【プログラム】 — 【プログラムのアンインストール】 の順にクリックします。**

Windows XP の場合は、【プログラムの追加と削除】をクリックします。



3 **削除したいソフトウェアを選択し、【アンインストールと変更】をクリックします。**

Windows XP の場合は、【変更と削除】をクリックします。

続けて再インストールするときは、パソコンを再起動してください。

以降は、画面の指示に従って削除してください。

Windows 2000 の場合

参考

ソフトウェアを削除するときは、管理者権限のあるユーザーでログインしてください。



1 **【スタート】 — 【設定】 — 【コントロールパネル】 の順にクリックします。**



2 **【アプリケーションの追加と削除】 アイコンをダブルクリックします。**



3 **削除したいソフトウェアを選択し、【変更と削除】をクリックします。**

続けて再インストールするときは、パソコンを再起動してください。

以降は、画面の指示に従って削除してください。

Mac OS X の場合

参考

ソフトウェアを削除する前に以下の内容を確認してください。

- UNIX ファイルシステム (UFS 形式) はサポートしていません。他のドライブでお使いください。
- Mac OS X v10.3 以降では、複数のユーザーが同時に 1 台のパソコンにログインすることができます (ファストユーザスイッチまたはファーストユーザスイッチ機能)。EPSON Scan はファストユーザスイッチ (ファーストユーザスイッチ) 機能には対応していませんので、削除するときにはファストユーザスイッチ (ファーストユーザスイッチ) 機能をオフにしてください。また、コンピュータの管理者だけがログインした状態で行ってください。



1 **ソフトウェア CD-ROM をパソコンにセットします。**

表示された画面内のアイコンをダブルクリックします。



2 **【Mac OS X】のアイコンをダブルクリックします。**

機種を選択する画面が表示されたら【ES-H7200】を選択してください。



3 **【カスタムインストール】をクリックします。**



4 **削除したいソフトウェアの横にある  をクリックします。**



5 **【アンインストール】をクリックします。**

続けて再インストールするときは、パソコンを再起動してください。

以降は、画面の指示に従って削除してください。

以上で、添付ソフトウェアの削除の説明は終了です。

添付ソフトウェアの再インストール

添付のソフトウェアをインストールし直す場合は、以下の手順で行います。ソフトウェアを再インストールする前に、本書 33 ページ「添付ソフトウェアの削除」をご覧ください、削除しておくことをお勧めします。

1 ソフトウェア CD-ROM をパソコンにセットします。

Mac OS X の場合は、表示された画面内のアイコンをダブルクリックします。

2 [カスタムインストール] をクリックします。 再インストールしたいソフトウェアを選択します。 以降は、画面の指示に従って再インストールしてください。



以上で、添付ソフトウェアの再インストールの説明は終了です。

EPSON Scan とボタンのトラブル

EPSON Scan が起動できない

EPSON Scan が起動できない、またはパソコンがスキャナを認識しないときは、以下をご確認ください。

✓ スキャナの電源がオンになっているか、USB/SCSI ケーブルが本製品の USB/SCSI コネクタおよびパソコンにしっかりと接続されているかご確認ください。

✓ 接続環境や USB ハブに問題がないかご確認ください。

☞ 本書 13 ページ「パソコンとスキャナの接続 (USB/SCSI)」

☞ 本書 19 ページ「準備するときの注意とヒント」

✓ Windows の場合、スキャナがパソコンに認識されているかご確認ください。

☞ 本書 16 ページ「接続の確認」

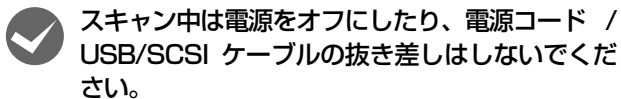
[EPSON ES-H7200] のアイコンが表示されていない場合は、再度 EPSON Scan のみをインストールし直してください。

インストール方法は、以下の通りです。

- ① スキャナの電源をオフにします。
- ② USB/SCSI ケーブルをパソコンから取り外します。
- ③ パソコンを再起動します。
- ④ ソフトウェア CD-ROM から、EPSON Scan をインストールします。EPSON Scan のみをインストールするには、[カスタムインストール] をクリックし、EPSON Scan を選択します。
☞ 本書 11 ページ「Windows」
- ⑤ インストール終了後、スキャナの電源をオンにします。
- ⑥ USB/SCSI ケーブルをパソコンに接続します。
☞ 本書 13 ページ「パソコンとスキャナの接続 (USB/SCSI)」

✓ Mac OS X の場合、以下の条件をご確認ください。

- Mac OS X v10.2.7 以前では使用できません。
- Mac OS X Classic 環境での動作はサポートしていません。Classic モードや Classic 環境を起動しない状態でお使いください (Mac OS X PowerPC 環境のみ)。
- UNIX ファイルシステム (UFS 形式) はサポートしていません。他のドライブでお使いください。
- Mac OS X v10.3 以降では、ファストユーザスイッチ (ファーストユーザスイッチ) 機能を使用していると、EPSON Scan を使用することができません。ファストユーザスイッチ (ファーストユーザスイッチ) 機能をオフにしてください。
- 他社 TWAIN 対応アプリケーションソフトの Intel 社製プロセッサ対応の状況に関しては、各アプリケーションソフトメーカーへお問い合わせください。
- Intel 社製プロセッサ搭載の Macintosh をお使いの方は、以下のページをご覧ください。
☞ 本書 19 ページ「準備するときの注意とヒント」



スキャン中は電源をオフにしたり、電源コード / USB/SCSI ケーブルの抜き差しはしないでください。

正しくスキャンできなかったり、パソコンが正しく動作しないことがあります。



お使いの機種ソフトウェアがインストールされているかどうか確認してください。

EPSON Scan は機種ごとに異なります。お使いの機種の EPSON Scan がインストールされていない場合は、再度 EPSON Scan をインストールしてください。

本書 11 ページ「Windows」

本書 12 ページ「Mac OS X」

サムネイルプレビューが正しくできない



サムネイルプレビューに対応した原稿をセットしているかどうか確認してください。

対応している原稿はカラーおよびモノクロ写真です。対応していない原稿をスキャンしても、正常にスキャンできません。

なお、対応している原稿をセットしても、思い通りの結果でスキャンできないことがあります。その場合は、EPSON Scan のホームモードまたはプロフェッショナルモードで「サムネイル表示」のチェックを外してプレビューし、プレビュー画面でスキャンする範囲を指定してください。



オートドキュメントフィーダ装着時にサムネイルプレビューはできません。

オートドキュメントフィーダのケーブルを外すと、サムネイルプレビューができます。ケーブルを外すときは、必ず電源をオフにしてください。



プレビューに適した原稿であることをご確認ください。

以下の画像は正常にスキャンできません。

- 極端に暗い（または明るい）画像
- 露出がアンダー（またはオーバー）気味に撮影された画像

正常にスキャンできなかったときは、EPSON Scan のホームモードまたはプロフェッショナルモードのプレビューで「サムネイル表示」のチェックを外してプレビューし、プレビュー画面でスキャンする範囲を指定してください。



原稿を正しくセットしているかどうか確認してください。

また、サムネイルプレビューのときは、スキャン領域の端面から 4.5mm 以上離してセットしてください。A4 サイズ（210 × 297mm）など大きな原稿をサムネイルプレビューすると、意図した範囲でプレビューできないことがあります。

サムネイルプレビューは画像を判別して自動的に画像範囲を切り取る機能です。画像によっては斜めにスキャンしたり、意図しない場所で切り取られたりします。

そのような場合は、通常表示でプレビュー後、スキャンしたい範囲を指定してからスキャンしてください。



自動回転されない原稿をセットしていないかどうか確認してください。

自動回転にチェックが入っている場合のみ有効です。自動回転できる原稿は、写真のみです。以下の原稿については、自動回転されません。

- 雑誌、イラストや文字などの書類原稿

- 1 辺が 5.1cm 以下の写真

- A4 サイズなどの大きな原稿

以下のような原稿については、自動回転が意図した結果にならない場合があります。

<例>

- 人物が写っていない原稿
- 人物が写っていても、乳幼児 / 写真全体に対して小さい人物 / 正面を向いていない人物 / 写真の向きと一致していない人物の原稿
- 空が写っていない原稿
- 空が写っていても、空が写真上部にない / 空に他のものが写り込んでいる原稿
- 写真上部以外に、太陽光 / 雪など、強く明るい箇所がある原稿

写真の自動回転が意図した結果にならないときは、ホームモードまたはプロフェッショナルモードで  サムネイルプレビューし、で適切な向きに回転するか、通常プレビューにしてスキャンをしてください。自動回転機能を使用しないでスキャンするには、[環境設定] 画面にある「写真 / フィルムの自動回転」のチェックを外してください。



スキャン領域のサイズを調整してみてください。

EPSON Scan の [環境設定] 画面にある [プレビュー] 画面で、[サムネイル取込領域] のスライダを調整して、サムネイルプレビューのスキャン領域の大きさを調整してください。

【スキャナビ】ボタンを押しても起動しない

Mac OS X をお使いで、【スキャナビ】ボタンを押しても EPSON Scan が起動しないときは、以下をご確認ください。



EPSON Scan をインストールしたユーザーでログインしてください。

インストールを行った方以外のユーザーがログインしている場合は、[アプリケーション] フォルダにある EPSON Scanner Monitor を実行してください。一度 EPSON Scanner Monitor を実行すれば、【スキャナビ】ボタンが使用できるようになります。



Classic モードは終了させてください。

Classic モードが起動していると、【スキャナビ】ボタンが反応しなくなります（Mac OS X PowerPC 環境のみ）。

スキャン結果のトラブル

スキャン結果が予想と違う



正しい原稿種を選択してください。

EPSON Scan のホームモードやプロフェッショナルモード使用時は、画面にある〔原稿種〕または〔原稿設定〕で、セットした原稿に合った原稿種を選択しないと正常にスキャンできません。

ホームモードで写真をスキャンするときは、〔プリント写真〕を選択してください。

プレビューしても画像が表示されない



ガラス面に大きなゴミなどがないかご確認ください。

原稿台のガラス面にゴミや汚れなどがあると、サムネイル表示でプレビューができないことがあります。ガラス面のゴミや汚れなどを取り除いてください。



原稿を正しくセットしてください。

原稿台にはスキャンされない範囲があります。以下のページでスキャンされない範囲を確認し、スキャン領域にセットしてください。また、複数の写真を並べてセットするときは、写真と写真の間隔を 20mm 以上あけてセットしてください。

📖 本書 29 ページ「写真や雑誌のセット」

オートドキュメントフィーダ使用時のトラブル

原稿が詰まったときは、『活用 + サポートガイド』の『オートドキュメントフィーダ「トラブル対処方法」』をご覧ください。

〔原稿種〕または〔取込装置〕を選択できない



オートドキュメントフィーダのケーブルが外れていないかご確認ください。

ケーブルがスキャナに接続されていないと、オートドキュメントフィーダは使えません。ケーブルを接続してください。

📖 本書 40 ページ「オートドキュメントフィーダの取り付け方法」



ホームモードを使用していないかご確認ください。

ホームモードはオートドキュメントフィーダに対応していません。オフィスモードに切り替えて取り込んでください。

📖 本書 43 ページ「オートドキュメントフィーダを使ってスキャンする」

サムネイルプレビューができない



オートドキュメントフィーダ装着時は、プロフェッショナルモードでサムネイルプレビューはできません。

オートドキュメントフィーダのケーブルを外すと、サムネイルプレビューができます。ケーブルを外すときは、必ず電源をオフにしてください。

トラブルが解決しないときは

活用+サポートガイドをご覧ください

『活用+サポートガイド』の「トラブル対処方法」を見て、あてはまるトラブルの対処方法を行ってください。

『活用+サポートガイド』については、以下のページをご覧ください。

📖 本書 28 ページ「詳しい使い方（活用+サポートガイドのご案内）」

インターネット FAQ をご覧ください

本書または『活用+サポートガイド』を見ても問題が解決しない、ちょっとわからないことがある。こんなときに、お客様の環境がインターネットに接続できる環境ならば、インターネット FAQ をお勧めします。

エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容を FAQ としてホームページに掲載しております。

ぜひご活用ください。<<http://www.epson.jp/faq/>>

『活用+サポートガイド』の「インターネット FAQ」からも接続できます。

本体が故障していないかをご確認の上、お問い合わせください

動作確認の方法、お問い合わせ先は、以下のページをご覧ください。

📖 本書 49 ページ「サービス・サポートのご案内」

コピーユニット / ネットワーク接続用 オプションについて

ここでは、コピーユニット / ネットワーク接続用オプションについての概要を説明します。接続や設定の詳細についてはそれぞれの取扱説明書をご覧ください。

コピーユニット

スキャナとカラーページプリンタを接続し、カラーコピー機として使用するためのオプションです。パソコンを使用せずコピー感覚で操作でき、カラーコピー機よりリーズナブルです。コピーユニットに接続したスキャナをネットワーク経由で利用できます。

なお、専用スキャナスタンドおよび専用プリンタ台もあります。

本製品では、以下のコピーユニットをお使いください。

型番:CS-9200

概仕様

インターフェイス	10Base-T/100Base-TX（自動切替）
ネットワークスキャン機能	ネットワーク経由で、EPSON Scan を使用して画像スキャン
メール・ファイル機能	あり

参考

- ネットワークスキャン機能は同一セグメント上で使用してください。
- 本製品は、標準で SCSI/USB インターフェイス、ネットワークインターフェイス、またはコピーユニットの専用インターフェイスをオプションスロットへ搭載することで、3 種類のインターフェイスが搭載できます。ただし、これらのインターフェイスの同時使用（同時アクセス）はできません。

ネットワークスキャニングカード

ネットワークスキャニングカードをスキャナおよびネットワークに接続すると、そのスキャナをネットワーク経由で利用できます。

本製品では、以下のネットワークスキャニングカードをお使いください。

型番:ESIFNW1

概仕様

インターフェイス	10Base-T/100Base-TX（自動切替）
ネットワークスキャン機能	ネットワーク経由で、EPSON Scan を使用して画像スキャン

参考

- 本製品は標準で SCSI/USB インターフェイス、またネットワークオプションを接続することで3種類のインターフェイスが搭載できます。ただし、これらのインターフェイスの同時使用やスキャンはできません。
- ネットワークスキャニングカードを装着した場合、コピーユニットを装着することはできません。
- 本製品とネットワークスキャニングカードは同一セグメント上で使用してください。

オートドキュメントフィーダについて

ここでは、オプションのオートドキュメントフィーダについて説明します。

本製品で利用できるオートドキュメントフィーダ

本製品では、以下のオートドキュメントフィーダをお使いください。

型番:ESA3ADF2

オートドキュメントフィーダにセットできる原稿

セットできる原稿

オートドキュメントフィーダにセットできる用紙は以下の通りです。

原稿サイズ	A3、Ledger (280 × 432mm)、B4、Legal (216 × 356mm)、A4、Letter (216 × 279mm)、B5、A5、A6 *、郵便ハガキ * *：横長にセットしてください。このサイズは自動検知できないので、A5 横サイズでスキャンされます。この場合は、一度プレビューして取り込み枠を原稿に合わせてからスキャンしてください。 不定形紙幅:148 ~ 297mm 長さ:100 ~ 432mm 原稿の幅方向（主走査方向）が同一定型サイズ（A3 縦と A4 横、A4 縦と A5 横、B4 縦と B5 横）の場合、原稿混在の読み取りが可能です。
セット可能枚数	100 枚 (80g/m ² 時のみ) (エッジガイドの目盛りを超えてセットしないでください。また、用紙の継ぎ足しや異なるサイズの用紙はセットできません。)
紙質	上質紙、中質紙、再生紙、ボンド紙、インクジェット紙（エプソン製スーパーファイン紙相当）
紙厚	(原稿坪量) 50 ~ 127g/m ²

！重要 写真原稿などに特に貴重な原稿は、カールなどで原稿を傷めるおそれがありますので使用しないでください。

セットできない原稿

以下の用紙は、オートドキュメントフィーダでは使用しないでください。給紙不良またはオートドキュメントフィーダの故障などの原因になります。

- 折り目、反り（カール）、しわ、破れのある用紙（原稿が反っている場合は、反りを直してセットしてください）
- 糊、ホチキス、クリップなどが付いた用紙
- 形状が不規則な用紙、裁断角度が直角でない用紙
- 貼り合わせ、ラベル紙（裏面糊付）
- ルーズリーフの多穴原稿
- 綴じのある用紙（製本物）
- 裏カーボンのある用紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙
- 透明紙（OHP シートなど）、半透明紙、光沢紙
- シールなどが貼ってある原稿
- 劣化した原稿

オートドキュメントフィーダの 取り付け方法

！重要

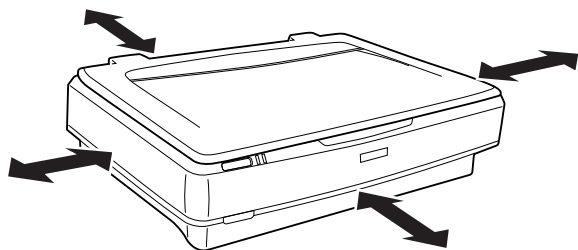
オートドキュメントフィーダは重く（約 13kg）、取り付け前は不安定ですので、取り付け作業は必ず2人以上で行ってください。1人で行うと、落下によりけがをしたり、オートドキュメントフィーダが破損するおそれがあります。

参考

オートドキュメントフィーダに同梱のストッパ2種類（白 / グレー）と排紙サポートは本製品では取り付け不要です。

- 1 スキャナの電源をオフにし、ケーブル類をすべて取り外します。

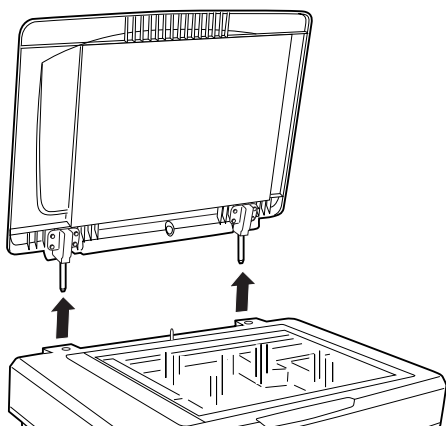
- 2 スキャナの周囲に人が作業できるスペースを確保します。また、できるだけ低い位置に置きます。オートドキュメントフィーダは、スキャナの背面側から取り付けますので、背面側に、オートドキュメントフィーダを取り付けるための作業スペースを確保してください。



！重要

オートドキュメントフィーダを取り付ける時は、作業を容易にするため、腰よりも低い安定した位置にスキャナを置き、落下によるけがやオートドキュメントフィーダの破損が起きないように注意して作業してください。

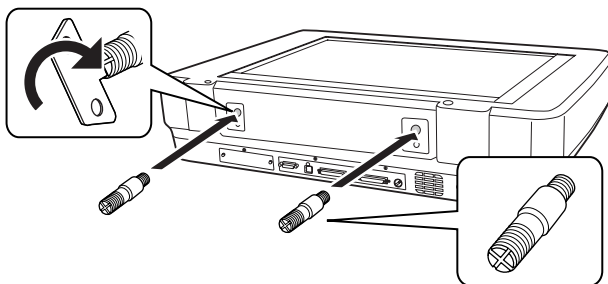
- 3 スキャナの本稿カバーを取り外します。



4

- オートドキュメントフィーダに付属のネジを、スキャナ背面に取り付けます。

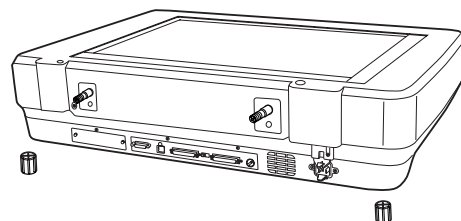
手で締められるところまで締めてから、オートドキュメントフィーダに付属のネジ締め工具を使って固く締めます。



5

- オートドキュメントフィーダに付属のナットを、スキャナの近く（背面側）に置きます。

このナットは、オートドキュメントフィーダの固定に使用するものです。オートドキュメントフィーダを取り付ける前に、スキャナ背面側に置いておきます。

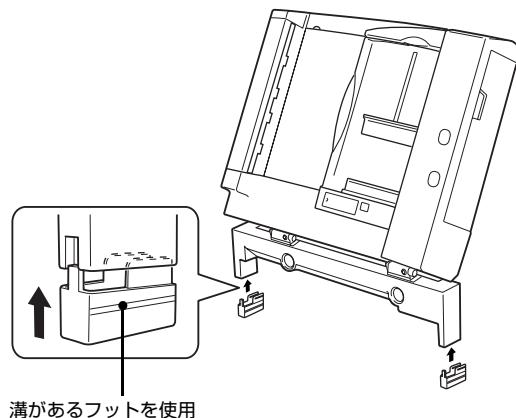


6

- オートドキュメントフィーダに付属のフットを、図のようにオートドキュメントフィーダに取り付けます。

参考

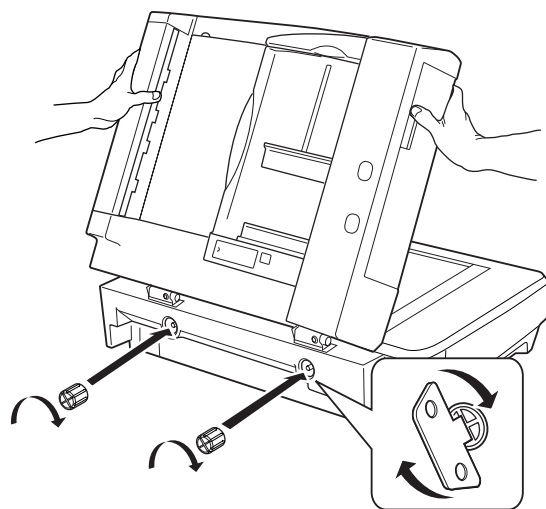
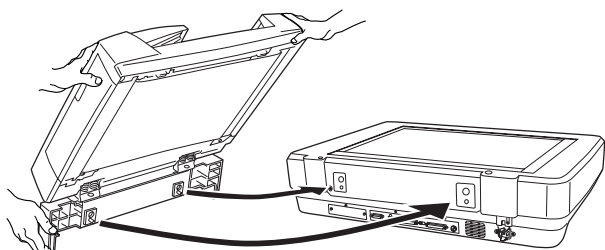
フットが2種類同梱されていますが、本製品には溝があるフットの方を取り付けてください。



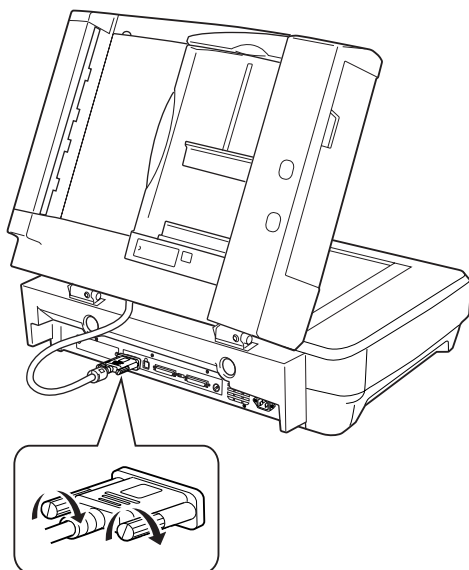
溝があるフットを使用

- 7** オートドキュメントフィーダを2人以上で持ち上げます。スキャナ背面に取り付けたネジにオートドキュメントフィーダの取り付け穴を差し込み、ナットで固定します。

手で締められるところまで締めてから、オートドキュメントフィーダに付属のネジ締め工具を使って固く締めます。



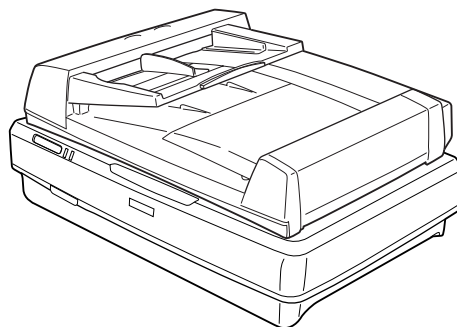
- 8** スキャナ背面のオプションコネクタにオートドキュメントフィーダのコネクタを取り付け、コネクタ両脇のネジで固定します。



- 9** オートドキュメントフィーダを閉じます。オートドキュメントフィーダとスキャナが、ガタなく、しっかりと固定されているか確認します。

ガタがあるときは、ナットを増し締めしてしっかりと固定します。

- 10** スキャナを2人以上で持ち上げ、設置する場所に置きます。



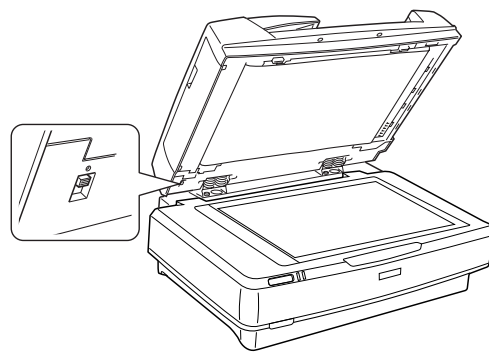
！重要

- オートドキュメントフィーダを取り付けた状態では、総質量は約28kgです。必ず、2人以上で運んでください。
- 必ず、水平で安定した頑丈な場所に設置してください。また、オートドキュメントフィーダを取り付けた状態のスキャナより大きな台に設置してください。
- オートドキュメントフィーダを開ける時は、ゆっくりと開けてください。勢いよく開けると、反動でスキャナが動く（設置位置がズれる）ことがあります。

- 11** 取り外したケーブル類を接続します。

（参考）

オートドキュメントフィーダの底面にあるスイッチは、図の位置のままにしておいてください。



以上で、オートドキュメントフィーダの取り付け方法は終了です。

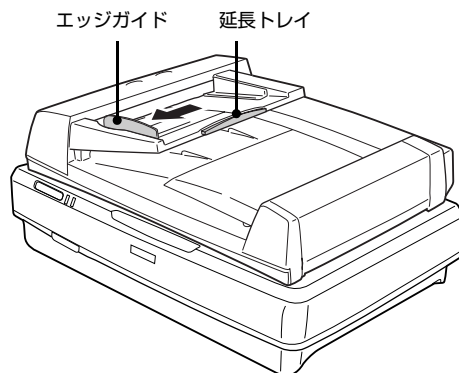
オートドキュメントフィーダへの 原稿のセット方法

ここでは、オートドキュメントフィーダへのセット方法を説明します。

1

エッジガイドを広げます。

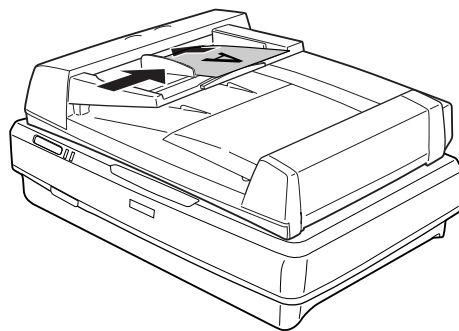
セットする原稿サイズの見盛りの位置まで広げてください。B4 以上の原稿をセットするときは、延長トレイを引き出します。



2

原稿をセットします。

原稿のスキャンする面を上にして、見盛りに合わせて奥に突き当たるまで差し込み、エッジガイドを原稿の側面に合わせます。



原稿のセット方向

A4 以下の原稿	A4 より大きい原稿
原稿の下側を原稿挿入口に向けてセット ←給紙方向	←給紙方向

参考

- どちらの場合も、取り込む面を上に向けてセットしてください。
- 両面原稿のときは、表面を上に向けてセットしてください。
- 1 番上の原稿から給紙されます。

以上で、オートドキュメントフィーダへの原稿のセットは終了です。

スキャンされた原稿は、下段のトレイに排出されます。

オートドキュメントフィーダ装着時に、原稿を原稿台にセットするときは、『活用 + サポートガイド』をご覧ください。
 本書 28 ページ「詳しい使い方（活用 + サポートガイドのご案内）」

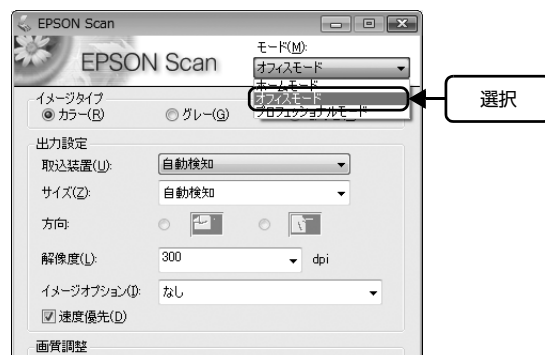
オートドキュメントフィーダを使って スキャンする

- 1 オートドキュメントフィーダに原稿をセットします。
📖 本書 42 ページ「オートドキュメントフィーダへの原稿のセット方法」

- 2 パソコンで EPSON Scan を起動します。

Windows の場合	Mac OS X の場合
デスクトップ上の [EPSON Scan] アイコンをダブルクリックします。  [EPSON Scan] アイコンがないときは、本書 29 ページ「EPSON Scan の起動方法 (Windows)」をご覧ください。	ハードディスク [アプリケーション] フォルダ [EPSON Scan] アイコンの順にダブルクリックします。 

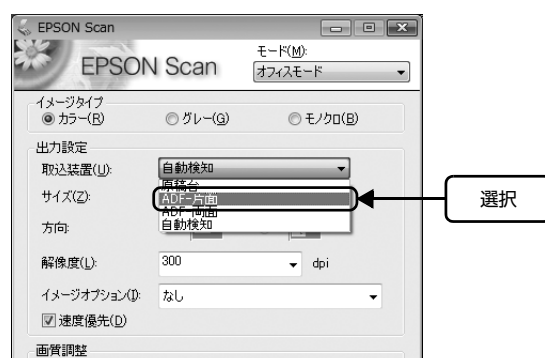
- 3 [オフィスモード] を選択します。
オフィスモードを使用することによって、簡単な手順でスキャンできます。



- 4 [取込装置] で [ADF- 片面] を選択します。

参考

【取込装置】で【自動検知】を選択したときは
オートドキュメントフィーダに原稿がセットされている
ときは、オートドキュメントフィーダの原稿をスキャン
します。オートドキュメントフィーダに原稿がないとき
は、原稿台の原稿をスキャンします。
セットできる原稿については以下のページをご覧ください。
📖 本書 39 ページ「オートドキュメントフィーダにセッ
トできる原稿」



5

【サイズ】、【方向】、【解像度】、【画質調整】を原稿や目的に合わせて設定します。



6

【スキャン】をクリックして、スキャンを実行します。



！重要

オートドキュメントフィーダ動作中は、オートドキュメントフィーダ本体やオートドキュメントフィーダのカバーは開けないでください。オートドキュメントフィーダ本体を開けたりオートドキュメントフィーダのカバーを開けたりすると、スキャナ本体がエラーとなりスキャンできません。

参考

複数の原稿をスキャンするには PDF 形式をお勧めします。PDF 形式は Windows と Macintosh で、画面表示 / 印刷ともに同様の結果が得られる汎用的なドキュメント形式です。また、圧縮率レベルの設定もできます。

以上で、オートドキュメントフィーダを使ってスキャンする方法は終了です。

オートドキュメントフィーダ使用時のトラブルに関する対処方法に関しては、以下のページをご覧ください。

📖 本書 36 ページ「オートドキュメントフィーダ使用時のトラブル」

輸送時のご注意 / お手入れ

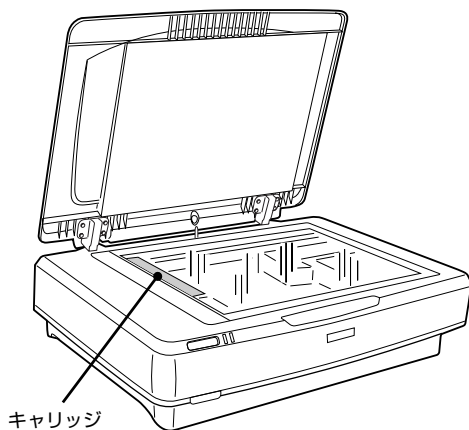
輸送時のご注意

スキャナを輸送するときや振動の激しい移動のときは、次のように輸送用固定レバーでキャリッジを固定してください。

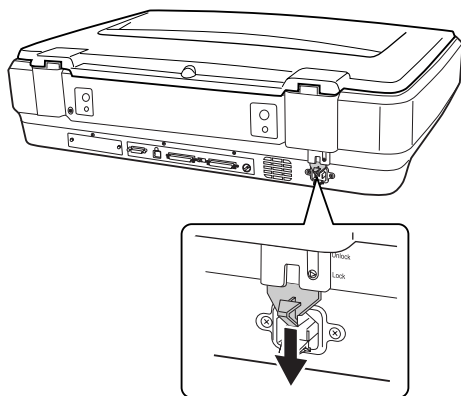
- 1 スキャナの電源をオンにし、キャリッジが原稿台のホームポジションにあることを確認します。

参考

正しくスキャンが終了すると、キャリッジはホームポジションに移動します。ホームポジションにない場合は、電源を入れなおすことによって、ホームポジションに移動します。Ready ランプが点灯したら、電源をオフにしてください。



- 2 電源スイッチを押して、スキャナの電源をオフにします。
- 3 電源コードとインターフェースケーブルを取り外します。
- 4 輸送用固定レバーを LOCK にし、キャリッジを固定します。



5

梱包材を取り付け、スキャナを梱包します。

専用の梱包箱と梱包材を使って、開梱したときと同じ状態で梱包してください。正しく梱包しないと、輸送中に振動や衝撃が加わって故障の原因になります。

！重要

本製品は重いので、移動するときは1人で運ばないでください。必ず2人以上で運んでください。

お手入れ

いつでも快適にお使いいただくために、以下の方法で本製品のお手入れをしてください。

また、スキャナを保管するときは、振動などの影響を受けない水平な場所で保管してください。水平でない場所で保管すると、スキャンした画像の品質に影響が出ることがあります。

本体のお手入れ

以下の部分が汚れたときは、柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた溶液に柔らかい布を浸し、よくしぼってから汚れをふき取り、その後乾いた布でふいてください。

- 原稿台のガラス面
- 外装面
- 原稿マット

！重要

- シンナー、ベンジン、アルコールなどの揮発性薬品はケースなどの表面を傷めることがありますので、絶対に使わないでください。
- スキャナには絶対に水などがかからないように注意してください。

蛍光ランプが切れたときの対応

蛍光ランプが切れたときは、交換修理が必要です。お買い求めの販売店、またはエプソンサービスコールセンターへ修理をご依頼ください。エプソンサービスコールセンターのお問い合わせ先については、本書裏表紙をご覧ください。

仕様

本製品の技術的な仕様について記載しています。

基本仕様

形式	卓上型カラーイメージスキャナ
外形寸法	幅 656 × 奥行 458 × 高さ 158mm
質量	約 13.5kg
走査方式	キャリッジ移動型原稿読み取り
画像読み取りセンサ	カラー CCD ラインセンサ
原稿サイズ	A3 まで
最大有効領域	297 × 432mm
最大有効画素 * 1	主走査 7,020 画素 × 副走査 10,200 画素 (600dpi)
センサ解像度 * 2	主走査 : 600dpi 副走査 : 1,200dpi (マイクロステップ駆動)
読取解像度	50 ~ 9,600dpi まで (スキャナから EPSON Scan に出力される解像度。1 dpi 刻みで設定可能) ※ EPSON Scan を使ったときのアプリケーションに出力される解像度は、50 ~ 4,800dpi (1 dpi 刻み)、7200dpi、9600dpi
階調	各色 16bit (入力)、1 ~ 8bit (出力)
色分解方式	カラー CCD ラインセンサ上のフィルタ分解 (R・G・B・BK)
インターフェイス	SCSI × 2 (Windows のみ対応、高密度 50 ピンコネクタ)、 USB2.0 × 1 (標準 B コネクタ)、拡張スロット
光源	高輝度キセノン蛍光ランプ

* 1 : 高解像度に設定すると、意図した範囲がスキャンされないことがあります。

* 2 : 光学解像度は、ISO14473 規格をもとに、原稿を読み取る際の最大のサンプリングレートを表しています。

電気仕様

製品

消費電力 (オプション非装着時)	動作時：約 50W レディー時：20W 以下 スリープモード時：6.2W 以下 電源オフ時：0.1W 以下
適合規格、規制	国際エネルギースタープログラム、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2、VCCI クラス B

本体

定格電圧	AC100V
入力電圧範囲	AC100V ± 10%
定格周波数	50 ～ 60Hz
定格電流	0.8A

オートドキュメントフィーダ(別売)

定格電圧	DC24.0V、DC5.0V
入力電圧範囲	DC24.0V ± 10%、DC5.0V ± 5%
定格電流	1.5A (24.0V)、0.4A (5.0V)

環境条件

温度	動作時：5 ～ 35 度 保存時：－ 25 ～ 60 度
湿度	動作時：10 ～ 80% (非結露) 保存時：10 ～ 85% (非結露)
塵埃	一般事務所、一般家庭程度 異常にほこりの多いところは避けること
照度	直射日光、光源の近くは避けること

インターフェイス仕様

規格	USB2.0/SCSI (Windows のみ対応)
転送速度	480Mbps (Hi-speed device) /Ultra SCSI をサポート最大 20MB/s (当転送速度は理論上の最速値です)
適合コネクタ	標準 B レセプタクル 1 / 高密度 50 ピンコネクタ

システム条件

お使いのパソコンのシステム条件が EPSON Scan より高いときは、パソコンのシステム条件に従ってください。

Windows

オペレーティングシステム	Windows 2000 Professional/Windows XP Home Edition/ Windows XP Professional/Windows XP Professional x64 Edition/Windows Vista
CPU	Pentium または互換プロセッサ 233 MHz 以上 (Pentium III または互換プロセッサ 500MHz 以上推奨)
主記憶メモリ	128MB 以上 (512MB 推奨)
ハードディスク空き容量	インストール時: 35MB 実行時: 50MB (1GB 推奨) スキャンを行う画像データによって、さらに多くの空き容量が必要となります。
ディスプレイ	Super VGA (800 × 600) 以上のフルカラー高解像度ビデオアダプタおよびディスプレイ (XGA (1024 × 768) 以上推奨)

※ 本製品には Windows 98/Me 用のソフトウェアは添付されていません。エプソンのホームページよりダウンロードしてください。
< <http://www.epson.jp> >

Mac OS X

システムソフトウェア	Mac OS X v10.2.8 ~ v10.5.x (USB インターフェイスを標準装備している機種)
CPU	PowerPC G3 以上 (PowerPC G4 500MHz 以上推奨) または Intel 社製プロセッサ
メモリ空き容量	128MB 以上 (512MB 推奨)
ハードディスク空き容量	インストール時: 40MB 実行時: 50MB (1GB 推奨) スキャンを行う画像データによって、さらに多くの空き容量が必要となります。
ディスプレイ	画面解像度 800 × 600 以上のフルカラーディスプレイ (1024 × 768 以上推奨)

サービス・サポートのご案内

各種サービス・サポートの一覧

弊社が行っている各種サービス・サポートは以下の通りです。

名称	内容	問い合わせ先／アクセス先など
エプソンインフォメーションセンター	製品に関するご質問やご相談に電話でお答えします。	☎ 本書裏表紙
エプソンのホームページ	製品に関する最新情報などをインターネットにて提供しています。	
MyEPSON*	エプソンの会員制情報提供サービスです。「MyEPSON」にご登録いただくと、お客様の登録内容に合わせた専用ホームページを開設してお役に立つ情報や、さまざまなサービスを提供いたします。	
ショールーム	エプソン製品を見て、触れて、操作できます（東京・大阪）。	
消耗品 / オプションの購入	エプソン製の消耗品 / オプション品が、お近くの販売店で入手困難な場合には、エプソンダイレクトの通信販売をご利用ください。	
ソフトウェアダウンロードサービス	プリンタドライバなどのソフトウェアは、バージョンアップを行うことがあります。最新のソフトウェアは、弊社のホームページからダウンロードできます。	エプソンのホームページ
マニュアルダウンロードサービス	製品に添付されておりますマニュアル（取扱説明書）の PDF データをダウンロードできるサービスを提供しています。マニュアルを紛失してしまったときなどにご活用ください。 < http://www.epson.jp/support/scanner/manual.htm >	
保守サービス	エプソン製品を万全の状態でお使いいただくための保守サービスをご用意しております。	☎ 本書 49 ページ「保守サービスのご案内」

*：「MyEPSON」登録済みで、「MyEPSON」ID とパスワードをお持ちのお客様は、本製品の「MyEPSON」への機種追加登録をお願いします。追加登録していただくことで、よりお客様の環境に合ったホームページとサービスの提供が可能となります。「MyEPSON」への新規登録や機種追加登録は、同梱の『ソフトウェア CD-ROM』から簡単に行えます。

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、あわてずに、まず以下のページをよくお読みください。

☎ 本書 32 ページ「トラブル解決法」

保証書について

保証期間中に、万一故障したときには、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。

保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

補修用性能部品および消耗品の保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の保有期間は、製品の製造終了後 6 年間です。

※改良などにより、予告なく外観や仕様などを変更することがあります。

保守サービスの受付窓口

エプソン製品を快適にご使用いただくために、年間保守契約をお勧めします。保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- エプソンサービスコールセンター
☎ 本書裏表紙

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。詳細については、お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターまでお問い合わせください。

種類		概要	修理代金と支払方法	
			保証期間内	保証期間外
年間保守契約	出張保守	• 製品が故障した場合、最優先で技術者が製品の設置場所に出向き、現地で修理を行います。 • 修理のつど発生する修理代・部品代*は無償になるため予算化ができて便利です。 • 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。 * 消耗品（インクカートリッジ、トナー、用紙など）は保守対象外となります。	無償	年間一定の保守料金
スポット出張修理		• お客様からご連絡いただいて数日以内に製品の設置場所に技術者が出向き、現地で修理を行います。 • 故障した製品をお持ち込みできない場合に、ご利用ください。	無償	出張料+技術料+部品代 修理完了後そのつどお支払いください。

- 交換寿命による定期交換部品の交換は、保証内外を問わず、出張基本料・技術料・部品代が有償となります。
年間保守契約の場合は、定期交換部品代のみ、有償となります（お客様交換可能な定期交換部品の場合は、出張基本料・技術料についても有償となります）。
- 本製品は、輸送の際に専門業者が必要となりますので、持込保守および持込修理はご遠慮願います。

エプソンサービスパック

エプソンサービスパックは、ハードウェア保守パックです。

エプソンサービスパック対象製品と同時にご購入の上、登録していただきますと、対象製品購入時から所定の期間（3 年、4 年、5 年）、安心の出張修理サービスと対象製品の取り扱いなどのお問い合わせにお答えする専用ダイヤルをご提供いたします。

- スピーディな対応：スポット出張修理依頼に比べて優先的に迅速にサービスエンジニアを派遣いたします。
- もしものときの安心：万一トラブルが発生した場合は何回でもサービスエンジニアを派遣し対応いたします。
- 手続きが簡単：エプソンサービスパック登録書を FAX するだけで契約手続きなどの面倒な事務処理は一切不要です。
- 維持費の予算化：エプソンサービスパック規約内・期間内であれば、つど修理費用がかからず維持費の予算化が可能です。
- エプソンサービスパックは、エプソン製品ご購入販売店にてお買い求めください。

索引

数字

10Base-T/100Base-TX ... 38

C

CPU ... 48

E

EPSON Scan ... 6, 11, 23, 29, 43

Error ランプ (赤) ... 7

ESA3ADF2 ... 39

ESIFNW1 ... 38

F

Fast/Ultra SCSI コネクタ ... 8

M

MyEPSON ... 19, 49

R

Ready ランプ (緑) ... 7

S

SCSI ... 20

SCSI ID スイッチ ... 8

SCSI ケーブル ... 13, 15

T

TERMINATOR SW ... 8

TWAIN ... 29

U

USB ケーブル ... 13, 14

USB コネクタ ... 8

USB ハブ ... 20

あ

明るさ ... 25

アンシャープマスク ... 25

い

イメージタイプ ... 23, 25

インストール ... 11

インターフェイス ... 13, 38, 47

え

エッジガイド ... 42

エプソンインフォメーションセンター ... 49

エプソンサービスパック ... 50

お

オートドキュメントフィーダ ... 39

オートドキュメントフィーダ装着用プレート ... 8

オフィスモード ... 23, 43

オプションコネクタ ... 8

オプションスロット ... 8

か

解像度 ... 24

活用+サポートガイド ... 28

紙厚 ... 39

紙質 ... 39

き

キャリッジ ... 7, 45

け

蛍光ランプ ... 45

原稿カバー ... 7, 22

原稿サイズ ... 39, 46

原稿台 ... 7

原稿のセット方法 ... 22

こ

コントラスト ... 25

さ

サイズ ... 24

サムネイル表示 ... 30, 31

し

しきい値 ... 25

写真や雑誌のセット ... 29

出力サイズ ... 31

す

【スキャナビ】 ボタン ... 7

せ

接続 ... 13, 16
設置 ... 9
セット可能枚数 ... 39
セット方法 ... 42

た

ターミネータ ... 20
対応 OS ... 6, 13

つ

通常表示 ... 30

て

電源コード ... 6
電源コネクタ ... 8
電源スイッチ ... 7

と

取込装置 ... 24, 43

ね

ネットワークスキャニングカード ... 38
ネットワーク接続 ... 17
年間保守契約 ... 50

ふ

ファイル保存 ... 27
プレビュー ... 24

へ

ページ追加 ... 27
ページ編集 ... 27

ほ

方向 ... 24
ホームポジション ... 7, 45
保証書 ... 49
保存ファイルの設定 ... 26

も

モアレ除去 ... 25
文字くっきり ... 25

ゆ

輸送用固定レバー ... 8, 45

ろ

ローカル接続 ... 16

商標

EPSON Scan はセイコーエプソン株式会社の商標です。
EPSON PRINT Image Matching、トラブル解決アシスタントは、セイコーエプソン株式会社の登録商標です。
EPSON Scan is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
Mac、Macintosh、Mac OS は米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

本製品の使用限定について

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認の上、ご判断ください。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがあります。当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

複製が禁止されている印刷物について

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に係わらず、法律に違反し、罰せられます。
（関連法律）
刑法第 148 条、第 149 条、第 162 条
通貨及証券模造取締法第 1 条、第 2 条など
以下の行為は、法律により禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券を複製すること（見本印があっても不可）
- 日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
- 政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、郵便はがきなどを複製すること
- 政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複製すること

次のものは、複製するにあたり注意が必要です。

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
- パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

著作権について

写真・書籍・地図・図画・絵画・版画・音楽・映画・プログラムなどの他人の著作物は、個人（家庭内その他これに準ずる限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。

電波障害自主規制について ー注意ー

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。本装置の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCI ルールの限界値を超えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。（社団法人 電子情報技術産業協会（社団法人 日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

電源高調波について

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しております。

EPSON

●エプソンのホームページ <http://www.epson.jp>

各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を掲載したエプソンのホームページです。

※なお、エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。

FAQ <http://www.epson.jp/faq/>

●エプソンサービスコールセンター

修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先

050-3155-8600 【受付時間】9:00～17:30 月～金曜日（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-511-2949へお問い合わせください。

●修理品送付・持ち込み依頼先 *一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンのホームページでご確認ください。

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠 点 名	所 在 地	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス(株)	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563エプソンサービス(株)	050-3155-7110
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス(株)	050-3155-7120
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス(株)	050-3155-7130
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス(株)	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日 9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

*予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。

*修理について詳しくは、エプソンのホームページ <http://www.epson.jp/support/> でご確認ください。

◎上記電話番号をご利用できない場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。

・松本修理センター:0263-86-7660 ・東京修理センター:042-584-8070 ・福岡修理センター:092-622-8922

●ドアtoドアサービスに関するお問い合わせ先 *一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンのホームページでご確認ください。

ドアtoドアサービスとはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。*梱包は業者が行います。

ドアtoドアサービス受付電話 **050-3155-7150** 【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、0263-86-9995へお問い合わせください。

*平日の17:30～20:00および、土日、祝日、弊社指定休日の9:00～20:00の電話受付は0263-86-9995（365日受付可）にて日通調訪支店で代行いたします。*ドアtoドアサービスについて詳しくは、エプソンのホームページ <http://www.epson.jp/support/> でご確認ください。

●エプソンインフォメーションセンター 製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

050-3155-8077 【受付時間】月～金曜日9:00～20:00 土日祝日10:00～17:00（1月1日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8583へお問い合わせください。

●購入ガイドインフォメーション 製品の購入をお考えになっている方の専用窓口です。製品の機能や仕様など、お気軽にお電話ください。

050-3155-8100 【受付時間】月～金曜日 9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8444へお問い合わせください。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスKDDI光ダイレクトを利用しています。

上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話（一般回線）からおかけいただくか、各◎印の電話番号におかけくださいますようお願いいたします。

●FAXインフォメーション EPSON製品の最新情報をFAXにてお知らせします。

札幌 (011) 221-7911 東京 (042) 585-8500 名古屋 (052) 202-9532 大阪 (06) 6397-4359 福岡 (092) 452-3305

●ショールーム *詳細はホームページでもご確認ください。 <http://www.epson.jp/showroom/>

エプソンスクエア新宿

〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F

【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

エプソンスクエア御堂筋

〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋1F

【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

●MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンタをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス！ <http://myepson.jp/>

▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

●エプソンディスクサービス

各種ドライバを郵送でお届け致します。お申込方法・料金など、詳しくは上記FAXインフォメーションの資料でご確認ください。

●消耗品のご購入

お近くのエプソン商品取扱店及びエプソンダイレクト（ホームページアドレス <http://www.epson.jp/shop/>）または通話料無料 0120-545-1011でお買い求めください。（2007年9月現在）

エプソン販売 株式会社

〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階

セイコーエプソン株式会社

〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

ビジネス (SC) 2007. 9



本製品は、PRINT Image Matching IIに対応しています。PRINT Image Matching に関する著作権は、セイコーエプソン株式会社が所有しています。PRINT Image Matching に関する情報は、エプソンのホームページをご覧ください。



411283200

© セイコーエプソン株式会社 2008
Printed in XXXXX